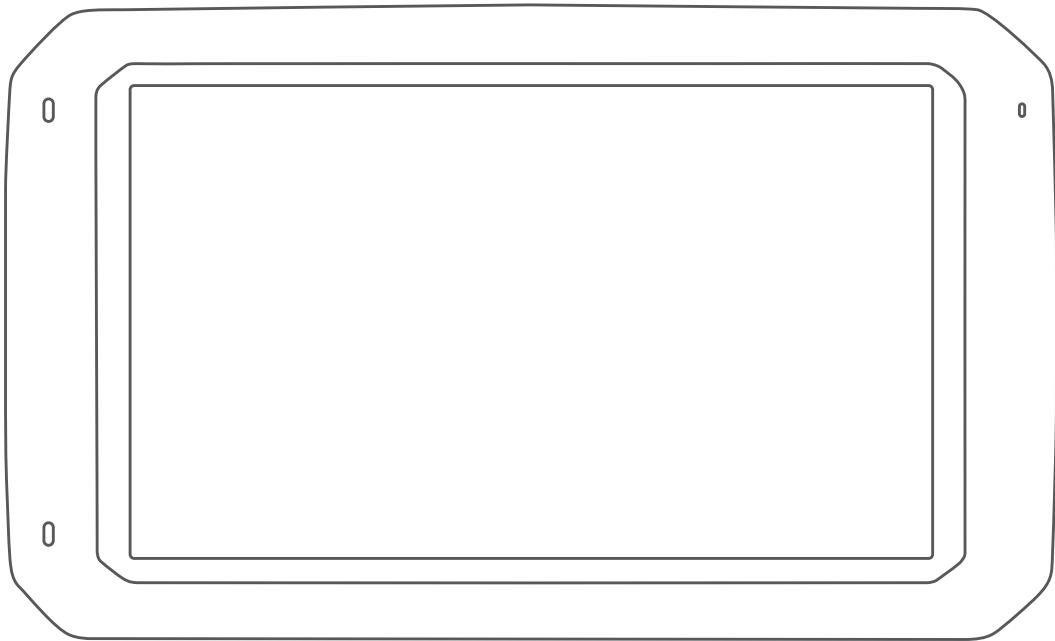


GARMIN[®]



DEZL™ 780

マニュアル

© 2020 Garmin Ltd. or its subsidiaries

無断転載禁ず。著作権法により、Garmin 社の書面による承認なしに、本マニュアルの全体または一部をコピーすることはできません。Garmin 社は、ユーザー や組織に通知する責任を負うことなく本マニュアルの内容を変更または改善したり、内容を変更する権利を有します。本製品の使用に関する最新情報および補足情報については、www.garmin.com を参照してください。

Garmin®、および Garmin ロゴは、Garmin Ltd.とその子会社の米国およびその他の国における登録商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

BC™、dēzl™、Garmin eLog™、Garmin Express™、および myTrends™は、Garmin Ltd.とその子会社の商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

Android™は Google Inc.の商標です。Apple®および Mac®は、米国およびその他の国における Apple Inc.の商標です。Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、Garmin はライセンスに基づきこのワードマークまたはロゴを使用しています。Foursquare®は、Foursquare Labs, Inc.の米国およびその他の国における商標です。microSD®および microSDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。TripAdvisor®は TripAdvisor LLC の登録商標です。TruckDown®は TruckDown Info International, Inc.の商標です。Windows®および Windows XP®は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Wi-Fi®および Wi-Fi CERTIFIED Miracast™は、Wi-Fi Alliance Corporation の登録商標です。

目次

はじめに	1	現在の場所近くの駐車場を検索する	8
デバイスの概要	1	駐車場の色分けと記号について	8
車両への dēzi デバイスの取り付けと電源の供給	1	検索ツール	8
デバイスの電源をオンまたはオフにする	1	交差点を検索する	8
GPS 信号を捕捉する	2	都市を検索する	8
メイン画面	2	座標を使用して位置を検索する	8
アプリの起動	2	Foursquare	8
ショートカットをホーム画面に追加する	2	Foursquare アカウントに接続する	8
通知の表示	2	Foursquare のジャンル別施設を検索する	9
ステータスバーアイコン	2	Foursquare の場所の詳細を表示する	9
タッチスクリーンを使用する	2	Foursquare によるチェックイン	9
画面の輝度を調整する	2	TripAdvisor	9
車両プロファイル	2	TripAdvisor ジャンル別施設 (POI) を検索する	9
乗用車プロファイル	2	最近検索した位置を表示する	9
車両プロファイルを追加する	3	最近検索した場所のリストを消去する	9
車両プロファイルの切り替え	3	現在地情報を表示する	9
トレーラー情報を変更する	3	緊急時サービスとガソリンスタンドを検索する	9
車両プロファイルを編集する	3	現在地への道順を表示する	9
ドライバーへの注意喚起の機能とアラート	3	ショートカットを追加する	9
オーディブルドライバーアラートを有効または無効にする	3	ショートカットを削除する	9
赤信号カメラとスピードカメラ	3	位置を保存する	9
目的地へのナビゲーション	4	位置を保存する	9
ルート	4	現在地を保存する	9
ナビゲーションを開始する	4	保存した位置を編集する	9
地図を使用してナビゲーションを開始する	4	保存した位置にカテゴリーを割り当てる	10
帰宅する	4	保存した位置を削除する	10
地図上のルート	4	地図を使用する	10
アクティブ車線案内	4	地図ツール	10
方向転換と方向指示を表示する	5	地図ツールを表示する	10
地図にルート全体を表示する	5	地図ツールを有効にする	10
目的地に到着する	5	この先	10
目的地の近くの駐車場	5	この先の場所を表示する	10
最後に駐車した場所を検索する	5	[この先] カテゴリーをカスタマイズする	10
アクティブルートを変更する	5	警告およびアラート記号	10
ルートに場所を追加する	5	制約に関する警告	11
ルートを形成する	5	道路状況に関する警告	11
迂回路を検索する	5	アラート	11
ルート探索方法を変更する	5	トリップ情報	11
ナビゲーションを停止する	6	地図からトリップデータを表示する	11
推奨ルートを利用する	6	トリップ情報ページを表示する	11
遅延、有料道路、およびエリアを回避する	6	軌跡ログを表示する	11
ルート上の交通遅延を回避する	6	トリップ情報をリセットする	11
有料道路を回避する	6	進行方向の交通事故を表示する	11
有料ステッカーを回避する	6	地図上に交通渋滞情報を表示する	11
道路の回避機能	6	交通事故情報を検索する	11
環境ゾーンを回避する	6	地図をカスタマイズする	11
カスタム回避	6	地図レイヤーをカスタマイズする	11
位置の検索と保存を行う	6	地図データフィールドを変更する	11
ジャンル別施設	7	地図表示方法を変更する	11
トラックのジャンル別施設を検索する	7	ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能	12
TruckDown ジャンル別施設 (POI) を検索する	7	電話をペアリングする	12
検索バーを使用して位置を検索する	7	デバイスをペアリングした後のヒント	12
住所を検索する	7	追加 Bluetooth デバイスのペアリング	12
カテゴリーを入力して位置を検索する	7	Garmin ライブサービス	12
カテゴリー内を検索する	7	Garmin ライブサービスに申し込む	12
場所検索の結果	7	スマートフォンからデバイスに位置を送信する	12
地図上の場所検索結果	7	スマート通知	13
検索エリアを変更する	8	スマート通知を受信する	13
カスタム POI (ジャンル別施設)	8	ハンズフリー通話	13
POI Loader をインストールする	8	電話をかける	13
カスタム POI を検索する	8	電話を受ける	13
駐車場	8	通話中オプションを使用する	13
トラック駐車場を検索する	8	電話番号をプリセットとして保存する	13

Android™が搭載されたスマートフォンの通知を表示または非表示にする	13
Apple®デバイスの通知カテゴリーを表示または非表示にする	13
Bluetooth デバイスの取り外し	13
ペアリングした Bluetooth デバイスを削除する	14
ペアリングした電話を削除する	14
トラフィック	14
Smartphone Link を使用してトラフィックデータを受信する	14
トラフィックを有効にする	14
地図上に交通渋滞情報を表示する	14
交通事故情報を検索する	14
photoLive トラフィックカメラ	14
photoLive トラフィックカメラの表示と保存	14
地図上に photoLive トラフィックカメラを表示する	14
トラフィックカメラを保存する	14
車両およびドライバーツール	14
休憩の計画	14
推奨の休憩をとる	15
休憩タイマーを開始する	15
休憩タイマーの一時停止とリセット	15
運転時間を調整する	15
1 日の制限運転時間を調整する	15
配送とトラック	15
配送とトラック共有の設定	15
配送とトラックセッションを開始する	15
dēzl デバイスに配送メッセージを送信する	15
IFTA	16
燃費データを入力する	16
燃費データを編集する	16
管轄機関の概要を表示およびエクスポートする	16
トリップレポートを編集およびエクスポートする	16
エクスポートされた管轄機関の概要およびトリップレポートを表示する	16
サービス履歴をログに記録する	16
サービスカテゴリーを追加する	16
サービスカテゴリーを削除する	16
サービスカテゴリーの名前を変更する	16
サービスの記録を削除する	16
サービスの記録を編集する	17
Garmin eLog	17
Setting Up Your Garmin eLog Adapter	17
Transferring Garmin eLog Data from Another Device	17
Backing Up Data	17
Restoring Data	17
Daily Operation Guidelines	17
Starting a Drive	17
Garmin eLog App Overview	18
Garmin eLog Map Tool Overview	18
Driving in a Team	18
Changing Duty Status	18
Viewing Hours of Service	19
Recording Adverse Conditions	19
Reviewing Logs	19
Certifying Daily Logs	19
Submitting a Daily Log	19
Exporting and Saving a Record of Duty Status (RODS) Report	19
Recording Trailers and Shipments	19
Roadside Inspection	19
Viewing Inspection Information	19
Transferring Data to an Inspector Using a USB Device	19
Transferring Data to an Inspector Using Bluetooth Wireless Technology	19
Diagnostics and Malfunctions	19
Viewing Diagnostics and Malfunctions	20
Diagnostic Definitions	20
Malfunction Definitions	20
Administrator Functions	21
Adding Driver Profiles	21
Editing a Driver Profile	21
Clearing Garmin eLog App Data	21
音声コマンド	21
ウェイクアップフレーズを設定する	21
音声コマンドを有効化する	21
音声コマンドのヒント	21
音声コマンドを使用してナビゲーションを開始する	22
ミュートの手順	22
音声制御	22
音声制御の設定	22
音声制御の使用	22
音声制御のヒント	22
アプリケーションを使用する	22
デバイスのマニュアルの表示	22
トラック地図を表示する	22
トリッププランナー	22
トリップを計画する	22
トリップの場所を編集および並べ替える	22
トリップの経路にあるアトラクションの発見	22
トリップのルート探索オプションを変更する	23
保存されているトリップをナビゲーションする	23
アクティブルートを編集および保存する	23
前のルートと目的地を表示する	23
天気予報を表示する	23
別の都市周辺の天気を表示する	23
dēzl 設定	23
ナビゲーション設定	23
地図および車両設定	23
[ルート探索の環境設定] の設定	23
運転者支援の設定	24
トラフィック設定	24
Bluetooth 無線技術を有効にする	24
ワイヤレスネットワークに接続する	24
ディスプレイ設定	24
サウンドと通知の設定	24
サウンドと通知の音量を調整する	24
位置情報サービスを有効または無効にする	24
テキスト言語を設定する	24
アカウントを追加する	24
日付と時刻の設定	24
デバイス設定	24
設定を初期化する	25
デバイス情報	25
規制およびコンプライアンス情報の表示	25
仕様	25
デバイスを充電する	25
デバイスのメンテナンス	25
Garmin サポートセンター	25
Wi-Fi ネットワークの使用による地図とソフトウェアの更新	25
デバイスのお手入れ	25
外側ケースのクリーニング	25
タッチスクリーンのクリーニング	25
盗難防止	25
車両電源ケーブルのヒューズを交換する	26
デバイスをリセットする	26
デバイス、マウント、吸着カップを取り外す	26
吸着カップからマウントを取り外す	26
フロントガラスから吸着カップを取り外す	26

トラブルシューティング	26
吸盤がフロントガラスに取り付けられない	26
運転中にマウントでデバイスが所定の位置に保持されない	26
デバイスで衛星信号を受信できない	26
デバイスを車両で充電できない	26
充電しても電池の電力が長持ちしない	26
デバイスが電話または Smartphone Link に接続されません	26
付録.....	26
バックアップカメラ	26
有線のバックアップカメラを接続する	27
BC™ 35 バックアップカメラと Garmin ナビゲーションデバ イスをペアリングする	27
バックアップカメラを表示する	27
ワイヤレスディスプレイに接続する	27
データ管理	27
メモリーカードについて	27
地図およびデータ用のメモリカードを挿入する	27
デバイスをコンピュータに接続する	27
コンピュータからデータを転送する	27
追加の地図を購入する	28
アクセサリーを購入する	28
索引.....	29

はじめに

△ 警告

製品に関する警告およびその他の重要な情報については、製品パッケージに同梱されている『安全性および製品に関する重要な情報』ガイドを参照してください。

- デバイスで地図とソフトウェアを更新します (Wi-Fi ネットワークの使用による地図とソフトウェアの更新, 25 ページ)。
- 車両にデバイスを取り付け、電源に接続します (車両への dēzl デバイスの取り付けと電源の供給, 1 ページ)。
- GPS 信号を捕捉します (GPS 信号を捕捉する, 2 ページ)。
- 音量を調整し (サウンドと通知の音量を調整する, 24 ページ)、ディスプレイの輝度を調整します (画面の輝度を調整する, 2 ページ)。
- 車両プロファイルを設定します (車両プロファイルを追加する, 3 ページ)。
- 目的地までナビゲーションします (ナビゲーションを開始する, 4 ページ)。

デバイスの概要



①	ハンズフリー通話用マイク
②	音量調節
③	電源キー
④	Micro USB 電源およびデータポート
⑤	地図およびデータメモリカードスロット
⑥	3.5 mm オーディオジャック
⑦	14 ピンコネクタ付き磁気マウントインターフェイス
⑧	スピーカー

車両への dēzl デバイスの取り付けと電源の供給

△ 警告

この製品には、リチウムイオン電池が使用されています。電池を高温になる場所に放置すると、怪我や製品損傷の可能性があるので、直射日光を避けた場所で装置を保管してください。

デバイスとマウントの両方に磁石が取り付けられています。特定の状況下で、磁石はベースメーカーインシュリンポンプなど、体内医療機器と干渉する可能性があります。デバイスやマウントはこれらの医療機器に近づけないでください。

注記

デバイスとマウントの両方に磁石が取り付けられています。特定の状況下で、磁石はラップトップコンピュータのハードドライブなど、一部の電子デバイスに損傷を与える可能性があります。デバイスやマウントが電子デバイスの近くにある場合は、十分注意してください。

デバイスをバッテリーで使用する前に、バッテリーを充電する必要があります。

- 車両電源ケーブル ① をマウントの mini-USB ポートに接続します。



- マウント ② が吸盤 ③ にはまるまで押し込みます。

注：マウントと吸盤は、パッケージ内で既に組み立てられている場合があります。

マウントの Garmin® ロゴは、右側が上を向く必要があります。吸盤のヒンジ付きアームを閉じると、マウントと吸盤を簡単に接続できます。マウントと吸盤はしっかりと吸着する必要があります。状況により、これらを接続するために強く押す必要があります。

- 吸盤をフロントガラスに取り付け、レバー ④ をフロントガラス方向に倒します。
- デバイスの後部を磁気マウントに載せます。
- 次の中からオプションを選択します。
 - 電源ケーブルに車両の電源プラグが付いている場合は、車両の電源コンセントに差し込んでください。
 - 電源ケーブルに裸線のコネクタがある場合は、ケーブルに付属の配線図に従って、ケーブルを車両の電源に接続してください。

デバイスの電源をオンまたはオフにする

- デバイスの電源をオンにするには、電源キー ① を押すか、デバイスを電源に接続します。



- デバイスを省電力モードにするには、デバイスの電源がオンになっている状態で電源キーを押します。

省電力モードになっている間は画面がオフになり、デバイスはわずかな電力しか消費しませんが、すぐに復帰して使用できます。

ヒント：バッテリーを充電している間にデバイスを省電力モードにすることにより、デバイスの充電時間を短縮できます。

- デバイスの電源を完全にオフにするには、画面にプロンプトが表示されるまで電源キーを押し続け、**電源オフ**を選択します。

GPS 信号を捕捉する

ナビゲーションデバイスの電源をオンにしたとき、GPS レシーバーは衛星データを収集して現在地を確定する必要があります。衛星信号の取得に要する時間は、ナビゲーションデバイスを最後に使用した場所からどのくらい離れているか、空をはっきり見渡せる場所にいるかどうか、あるいは最後にナビゲーションデバイスを使用してからどのくらい経っているかなど、さまざまな要素によって異なります。初めてナビゲーションデバイスの電源をオンにしたときは、衛星信号の取得に数分かかることがあります。

- デバイスの電源をオンにします。
- ステータスバーの 表示を確認します。位置情報サービスが有効になっていない場合は有効にします ([位置情報サービスを有効または無効にする](#), 24 ページ)。
- 必要な場合には、高層ビルや樹木から離れて、空を見渡すことができる開けた場所に移動します。
デバイスが現在位置を特定するまで、ナビゲーションマップの上部には衛星の捕捉が表示されます。

メイン画面

注：カスタマイズした場合、ホーム画面のレイアウトが異なる場合があります。



- | | |
|--|-----------------------------------------------------------------------|
| | ① 下にスワイプすると、通知が表示されます。
下に2回スワイプすると、設定やバックライトの輝度をすばやく変更できます。 |
| | ② 長押しすると、壁紙をカスタマイズしたり、ウィジェットをホーム画面に追加したりできます。 |
| | ③ 選択してアプリドロワーを開きます。アプリドロワーには、お使いのデバイスにインストールされている全アプリのショートカットが表示されます。 |

アプリの起動

ホーム画面には、よく使うアプリのショートカットが表示されます。アプリドロワーでは、お使いのデバイスにインストールされている全アプリが、2つのタブに分類されて表示されます。航法タブには、ナビゲーション、配送、サービス時間の記録に役立つ Garmin アプリが表示されます。生産性タブには、通信、文書の表示、その他の作業に役立つアプリが表示されます。

アプリの起動オプションを選択する：

- ホーム画面からアプリのショートカットを選択します。
- ❶、タブ、アプリの順に選択します。

ショートカットをホーム画面に追加する

- ❶を選択します。
- 他のアプリケーションを表示するには、上または下にスワイプします。
- アプリケーションを長押しして、ホーム画面上の位置にドラッグします。

通知の表示

- 画面上部から下にスワイプします。
通知のリストが表示されます。
- 次の中からオプションを選択します。

- 通知に記載されているアクションまたはアプリを起動するには、通知を選択します。
- 通知を閉じるには、通知を右にスワイプします。

ステータスバーアイコン

ステータスバーはメインメニューの一番上に配置されています。ステータスバーアイコンはデバイスの機能情報を表示します。

	位置情報サービスが有効になっています (位置情報サービスを有効または無効にする , 24 ページ)。
	Bluetooth®技術が有効になっています。
	Bluetooth デバイスに接続しています。
	Wi-Fi®ネットワークに接続されています (ワイヤレスネットワークに接続する , 24 ページ)。
	アクティブな車両プロファイル。下に2回スワイプして、車両プロファイル設定 (車両プロファイル , 2 ページ) の表示を選択します。
	バッテリー充電レベル。

タッチスクリーンを使用する

- 画面をタップしてアイテムを選択します。
- 画面を指でドラッグまたはスワイプしてパンまたはスクロールします。
- 画面上で2本の指でつまむとズームアウトします。
- 画面上で2本の指を広げるとズームインします。

画面の輝度を調整する

このデバイスは、周辺光センサーを使用して、車両の状況に応じて画面の明るさを自動的に調整します。またユーザーは、通知パネルまたは設定メニューを使用して、手動で輝度を調整することができます。

- 次の中からオプションを選択します。
 - 画面の上部から下に2回スワイプして、通知パネルのクイック設定を開します。
 - ❶ > **表示 > 輝度レベル** を選択します。
- スライダーバーを使用して、輝度を調整します。

車両プロファイル

△ 警告

車両のプロファイル特性を入力しても、すべての推奨ルートでの特性が考慮されるわけではありません。また、警告アイコンが表示されない場合もあります。このデバイスではこのような制約や道路状況のすべてを把握できないため、地図データには限界があります。運転中は掲示されている道路標識と実際の道路状況を常に優先してください。

ルート探索およびナビゲーションは、車両プロファイルに基づいて計算されます。有効化された車両プロファイルは、ステータスバーのアイコンで示されます。デバイスのナビゲーション設定と地図設定は、車両タイプごとに個別にカスタマイズできます。

トラックの車両プロファイルを有効化するとき、デバイスは、寸法、重量、および車両に関して入力したその他の特性に基づいて、ルート内の制限区域や通行不能な区域を含めないようにします。

乗用車プロファイル

乗用車プロファイルは、自動車に使用するためにプリロードされている車両プロファイルです。乗用車プロファイルを使用している間、デバイスは標準的な自動車ルートを計算し、トラックのルーティングは実行できなくなります。乗用車プロファイルの使用時には、トラックに特有の一部の機能や設定は利用できません。

車両プロファイルを追加する

車両の重量、寸法、その他の特性を含めて、車両プロファイルを追加できます。

1 ◎> 航法 > 車両プロファイル > +を選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- 常時接続された貨物領域があるストレートトラックを追加するには、ストレートトラックを選択します。
- トラクターまたはトラクターとトレーラーの組み合わせを追加するには、トラクターを選択します。
- バスを追加するには、バスを選択します。

3 画面上の指示に従って、車両特性を入力します。

車両プロファイルを追加した後で、プロファイルを編集して、車両識別番号やトレーラー番号など、追加の詳細情報を入力できます (車両プロファイルを編集する, 3 ページ)。

車両プロファイルの切り替え

デバイスをオンにするたびに、車両プロファイルの選択を求められます。別の車両プロファイルにいつでも手動で切り替えることができます。

1 次の中からオプションを選択します。

- 画面上部から下に2回スワイプして、やなどの車両プロファイルアイコンを選択します。

• ◎> 航法 > 車両プロファイルを選択します。

2 車両プロファイルを選択します。

測定値や重量とともに車両プロファイル情報が表示されます。

3 選択を選択します。

トレーラー情報を変更する

トレーラー情報を変更する前に、トラクターの車両プロファイルを入力する必要があります (車両プロファイルを追加する, 3 ページ)。

トラクターでトレーラーを変更すると、トラクター情報を変更せずに車両プロファイルのトレーラー情報を変更できます。頻繁に使用するトレーラーをすばやく切り替えられます。

1 ◎> 航法 > 車両プロファイルを選択します。

2 トレーラーと使用するトラクターの車両プロファイルを選択します。

3 ☰を選択します。

4 次の中からオプションを選択します。

- 最近のトレーラー構成を使用するには、リストからトレーラー構成を選択します。
- 新しいトレーラー構成を入力するには、新しい構成を選択し、トレーラー情報を入力します。

車両プロファイルを編集する

車両プロファイルを編集して、車両情報を変更したり、新しい車両プロファイルに車両識別番号、トレーラー番号、オドメーター測定値などの詳細情報を追加できます。車両プロファイルの名前を変更したり削除したりすることもできます。

1 ◎> 航法 > 車両プロファイルを選択します。

2 編集する車両プロファイルを選択します。

3 次の中からオプションを選択します。

- 車両プロファイル情報を編集するには、✎を選択し、編集するフィールドを選択します。
- 車両プロファイルの名前を変更するには、✎ > ≡ > プロファイル名の変更を選択します。
- 車両プロファイルを削除するには、✎ > ≡ > 削除を選択します。

ドライバーへの注意喚起の機能とアラート

△ 注意

ドライバーアラートと制限速度機能は情報提供を行っているだけであり、すべての速度制限標識を守り、安全な運転の判断を行う責任はいかなる場合でも運転者にあります。Garmin は、適用されるすべての交通法規および標識に違反したことにより受け罰金または出頭命令については一切責任を負いません。

このデバイスは、慣れ親しんだ地域で運転している場合でも、より安全な運転や効率の向上に役立つ機能を備えています。デバイスは、アラートごとに通知音または音声メッセージを再生し、情報を表示します。一部の運転者アラートについて通知音をオン / オフできます。アラートによっては、利用できない地域もあります。

学校: デバイスは通知音を再生し、この先の学校やスクールゾーンまでの距離と制限速度 (利用可能な場合) を表示します。

制限速度低下: デバイスは通知音を再生し、この先の制限速度低下を表示するため、速度を下げる準備を整えることができます。

制限速度超過: 現在の道路に掲示されている制限速度を超えると、デバイスは通知音を再生し、速度制限アイコンに赤枠を表示します。

制限速度変更: デバイスは通知音を再生し、この先の制限速度を表示するため、速度を調節する準備ができます。

踏切: デバイスは通知音を再生し、この先の踏切までの距離を表示します。

動物出没: デバイスは通知音を再生し、この先の動物出没区域までの距離を表示します。

カーブ: デバイスは通知音を再生し、道路のカーブまでの距離を表示します。

渋滞: 渋滞に、より速い速度で近づくと、デバイスは通知音を再生し、渋滞までの距離を表示します。この機能を使用するには、デバイスでトラフィック情報を受信している必要があります (トラフィック, 14 ページ)。

トラック走行禁止: トラックの走行が禁止されている道路に接近すると、デバイスは通知音を再生します。

接地の危険あり: 車両が接地する可能性のある道路に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

つづら折れ: つづら折れのリスクがある道路に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

道幅減少: 車両が通過するには狭すぎる道路に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

急な下り坂: 急な下り坂に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

州および国の境界: 州または国の境界に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

オーディブルドライバーアラートを有効または無効にする

一部の運転者アラートについて通知音をオン / オフできます。音声を無効にしても、視覚アラートは表示されます。

1 ◎> 航法 > 安全運転支援 > オーディブルドライバーアラートの順に選択します。

2 各アラートの横にあるチェックボックスをオンまたはオフにします。

赤信号カメラとスピードカメラ

注記

Garmin は、赤外線カメラやスピードカメラのデータベースの正確性、またはその使用による影響に対して一切の責任を負いません。

注： この機能は、一部の国、または製品モデルではご利用いただけません。

製品モデルによっては、一部地域で赤信号カメラおよびスピードカメラの位置に関する情報が利用できます。報告されたスピードカメラや赤信号カメラに近づくと、アラートされます。

- ライブの赤信号データとスピードカメラデータは、Smartphone Link アプリを使用した Garmin ライブサービスからサブスクリプションとして利用できます (Garmin ライブサービス、12 ページ)。
- 赤信号カメラやスピードカメラの位置のデータベースを最新の状態に維持するには、スピードカメラのデータをダウンロードして保存できるようにするために、デバイスにアクティブなサブスクリプションが必要です。garmin.com /speedcameras に移動して、互換性と購入情報をご確認ください。サブスクリプションを購入したり、ワンタイムアップデート (1 回限りの更新) を行ったりできます。新しい地域を購入したり、既存の購読を延長したりすることはいつでもできます。
- 注：一部の地域の製品バンドルでは、赤信号カメラとスピードカメラのデータが事前にロードされていて、サブスクリプション無料で更新される場合があります。
- Garmin Express™ ソフトウェア (garmin.com/express) を使用してデバイスに保存されたカメラデータベースを更新できます。最新のカメラ情報を受信するために、デバイスを頻繁に更新してください。

目的地へのナビゲーション

ルート

ルートとは、現在地から 1 つ以上の目的地までの経路のことです。

- デバイスは、ルート計算モード (ルート探索方法を変更する、5 ページ) や回避 (遅延、有料道路、およびエリアを回避する、6 ページ) などで設定した環境設定に基づいて、目的地までの推奨ルートを計算します。
- デバイスは、アクティブな車両プロファイルに適していない道路を自動的に回避します。
- ユーザーは、推奨ルートを使用して目的地へのナビゲーションをすばやく開始することも、代替ルートを選択することもできます (ナビゲーションを開始する、4 ページ)。
- 使用または回避したい特定の道路がある場合は、ルートをカスタマイズできます (ルートを形成する、5 ページ)。
- ルートに複数の目的地を追加できます (ルートに場所を追加する、5 ページ)。

ナビゲーションを開始する

1 目的地検索を選択し、場所を検索します (位置の検索と保存を行う、6 ページ)。

2 位置を選択します。

3 次の中からオプションを選択します。

- 推奨ルートを使用してナビゲーションを開始するには、出発を選択します。
- 代替ルートを指定するには、▼を選択し、ルートを選択します。

地図の右側に代替ルートが表示されます。

- ルートの経路を編集するには、▼ > ルートの編集を選択し、ルートにシェイピングポイントを追加します (ルートを形成する、5 ページ)。

デバイスは場所までのルートを計算し、音声案内と地図上の情報によりルートを案内します (地図上のルート、4 ページ)。ルートにある主要な道路のプレビューが地図の端に数秒間表示されます。

追加の目的地で停止する必要がある場合、ルートに場所を追加できます (ルートに場所を追加する、5 ページ)。

地図を使用してナビゲーションを開始する

地図から場所を選択してナビゲーションを開始できます。

1 地図表示を選択します。

2 地図をドラッグおよび拡大 / 縮小して、検索する範囲を表示します。

3 必要な場合は、Q を選択して、表示されたジャンル別施設をカテゴリー別にフィルタリングします。

地図上に位置マーカー (■または青いドット) が表示されます。

4 次の中からオプションを選択します。

- 位置マーカーを選択します。
- ストリート、交差点、または住所位置などのポイントを選択します。

5 出発を選択します。

帰宅する

初めて自宅へのルートを開始すると、自宅の場所の入力を求めるメッセージがデバイスに表示されます。

1 目的地検索 > 自宅への順に選択します。

2 必要に応じて、自宅の場所を入力します。

自宅の場所を編集する

1 目的地検索 > ■ > 自宅登録の順に選択します。

2 自宅の場所を入力します。

地図上のルート

走行中、デバイスは、音声と地図上の情報で、目的地までのルートを案内します。方向転換地点や出口、またはその他のアクションに関する指示は、地図の一番上に表示されます。



- | | |
|---|--------------------------------------------------------------|
| ① | ルートでの次のアクション。次の方向転換、出口、その他のアクションおよび (利用可能な場合) 走行すべきレーンを示します。 |
| ② | 次のアクションまでの距離。 |
| ③ | 次のアクションに関する通りや出口の名前。 |
| ④ | 地図上に強調表示されたルート。 |
| ⑤ | ルートでの次のアクション。地図上の矢印はこの先のアクションの場所を示します。 |
| ⑥ | 車速。 |
| ⑦ | 走行中の道路の名前。 |
| ⑧ | 到着予想時刻。 |
| | ヒント：このフィールドをタッチして表示情報を変更できます (地図データフィールドを変更する、11 ページ)。 |
| ⑨ | 地図ツール。ルートとその周辺の詳細情報を表示するためのツールを提供します。 |

アクティブ車線案内

ルートで転換地点、出口、またはインターチェンジに近づくと、道路の詳細なシミュレーションがある場合は地図の横に表示されます。色付きの線①は方向転換に適した車線を示します。



方向転換と方向指示を表示する

ルートのナビゲーション中に、ルートのこの先の方向転換、レン変更、その他の方向指示を表示できます。

1 地図から、オプションを選択します。

- ナビゲーションするにつれてこの先の方向転換や方向指示を表示するには、 > 方向転換を選択します。

地図ツールで、地図の横に次の4つの方向転換や方向指示が表示されます。ルートをナビゲーションするにつれて、このリストは自動的に更新されます。

- ルート全体の方向転換と方向指示の完全なリストを表示するには、地図上部のテキストバーを選択します。

2 方向転換または方向指示を選択します（オプション）。

詳細情報が表示されます。利用可能な場合は、主要な分岐点が画像で表示されます。

地図にルート全体を表示する

1 ルートのナビゲーション中に、地図上の任意の場所を選択します。

2 を選択します。

目的地に到着する

目的地に近づくと、デバイスはルートの達成に役立つ情報を提供します。

- は地図上の目的地の場所を示し、目的地に近づいていることを音声プロンプトがアナウンスします。
- 目的地に近づくと、デバイスは駐車場の検索をするかどうか自動的に尋ねます。はいを選択して、近くの駐車場を検索できます（目的地の近くの駐車場、5ページ）。
- 目的地で停車した場合、デバイスはルートを自動的に終了します。デバイスが到着を自動的に検出しなかった場合は、停止を選択してルートを終了できます。

目的地の近くの駐車場

デバイスは、目的地の近くの駐車場所を探すのに役立ちます。目的地に近づくと、デバイスは駐車場の検索をするかどうか自動的に尋ねます。

注：この機能は、車両プロファイルを使用している場合にのみ使用してください。トラックの車両プロファイルを使用している場合は、目的地の近くにあるトラック駐車場を検索できます（トラック駐車場を検索する、8ページ）。

1 次の中からオプションを選択します。

- デバイスに確認のメッセージが表示されたら、はいを選択して近くの駐車場を検索します。
- デバイスに確認のメッセージが表示されなかった場合は、目的地検索 > カテゴリー > 駐車場の順に選択し、 > 目的地周辺を選択します。

2 駐車場をフィルタリングを選択し、空き状況、タイプ、価格、または支払い方法の1つまたは複数のフィルタカテゴリーを選択します（オプション）。

注：詳細なパーキングデータは、すべての地域およびすべての駐車場で利用できるわけではありません。

3 駐車場を選択し、出発 > 次の経由地を追加の順に選択します。デバイスは、駐車場にガイドします。

最後に駐車した場所を検索する

デバイスがオフの状態でデバイスを車両電源から取り外すと、現在地が駐車場として保存されます。

- > 最後の場所の順に選択します。

アクティブルートを変更する

ルートに場所を追加する

ルートに場所を追加する前に、ナビゲーションを実行している必要があります（ナビゲーションを開始する、4ページ）。

ルートの途中または最後に場所を追加できます。たとえば、ルートの次の目的地としてガソリンスタンドを追加できます。

ヒント：複数の目的地またはスケジュールされた経由地がある複雑なルートを作成するには、トリッププランナーを使用して、トリップの計画、スケジュール、および保存ができます（トリップを計画する、22ページ）。

1 地図から、 > 目的地検索を選択します。

2 位置を検索します（位置の検索と保存を行う、6ページ）。

3 位置を選択します。

4 出発を選択します。

5 次の中からオプションを選択します。

- ルートの次の目的地として場所を追加するには、次の経由地を追加を選択します。
- ルートの最後に場所を追加するには、最後の経由地追加を選択します。
- 場所を追加して、ルートでの目的地の順序を編集するには、アクティブルートに追加を選択します。

デバイスは、追加された場所を含めるためにルートを再計算し、順番に目的地までのルートを案内します。

ルートを形成する

ルートを形成する前に、ルートを開始する必要があります（ナビゲーションを開始する、4ページ）。

手動でルートを形成してコースを変更できます。これにより、ルートに目的地を追加せずに、特定の道路を使用するようにルートの方向を選択することや特定の地域を通過することができます。

1 地図上の任意の場所を選択します。

2 を選択します。

デバイスがルートシェイピングモードになります。

3 地図上で位置を選択します。

ヒント： を選択して、地図上でズームインし、より正確な場所を選択することもできます。

デバイスは、選択された場所を通過するようにルートを再計算します。

4 必要に応じて、オプションを選択します。

- ルートにさらにシェイピングポイントを追加するには、地図上で追加の場所を選択します。
- シェイピングポイントを削除するには、を選択します。

5 ルートの形成が完了したら、出発を選択します。

迂回路を検索する

ルート上の指定した距離の迂回路または特定の道路周辺の迂回路を検索できます。これは、工事ゾーン、道路閉鎖、または走行が難しい道路条件が発生したときに役立ちます。

1 地図で > ルートの変更を選択します。

ヒント：ルートの変更ツールが [地図ツール] メニューにない場合は追加できます（地図ツールを有効にする、10ページ）。

2 次の中からオプションを選択します。

- 距離を指定して迂回するには、距離で迂回を選択します。
- ルート上の特定の道路を迂回するには、道路別迂回路を選択します。
- 新しいルートを検索するには、迂回路を選択します。

ルート探索方法を変更する

1 > 航法 > ルートの環境設定 > 計算モードを選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- 時間優先を選択すると、一番早く目的地に到達できるルートを計算しますが、走行距離は長くなることがあります。
- 直行を選択すると、道路状況にかかわらず、ポイント間のルートを計算します。
- 距離優先を選択すると、走行距離が短くなるようにルートを計算しますが、走行時間は長くなることがあります。

ナビゲーションを停止する

- 地図で > を選択します。
- 通知バーから下にスワイプして Garmin ナビゲーション通知で を選択します。

推奨ルートを利用する

この機能を使用する前に、1つ以上の位置を保存して、走行履歴機能を有効にする必要があります (デバイス設定, 24 ページ)。

myTrends™ 機能を使用すると、走行履歴、特定の曜日や時刻に基づいてデバイスが目的地を予測します。保存した位置まで数回走行すると、地図上のナビゲーションバーに予定移動時間およびトラフィック情報と共にその位置が表示されます。

位置までのルート候補を表示するには、ナビゲーションバーを選択します。

遅延、有料道路、およびエリアを回避する

ルート上の交通遅延を回避する

交通の遅延を回避する前に、トラフィック情報を受信している必要があります (Smartphone Link を使用してトラフィックデータを受信する, 14 ページ)。

デフォルトでは、デバイスは自動的にルートを最適化して交通遅延を回避します。 [トラフィック設定] でこのオプションを無効にしている場合 (トラフィック設定, 24 ページ)、手動で交通遅延を表示し、回避できます。

- ナビゲーションの実行中に、 > **トラフィック**を選択します。
- 代替ルートを選択します (利用可能な場合)。
- 出発を選択します。

有料道路を回避する

デバイスは、有料道路、有料橋などの有料区域、または渋滞区域の通過を回避できます。他に妥当なルートがない場合は、ルートに有料区域が含まれる場合があります。

- 航法 > ルートの環境設定**を選択します。
- 次の中からオプションを選択します。
注：メニューは、地域とデバイス上の地図データにより変化します。
 - 有料道路を選択します。
 - 通行料金 > 有料道路を選択します。
- 次の中からオプションを選択します。
 - 有料区域を通過する前に毎回確認するには、常に確認するを選択します。
 - 有料道路を常に回避するには、回避を選択します。
 - 有料道路を常に許可するには、許可を選択します。
- 保存を選択します。

有料ステッカーを回避する

デバイスの地図データに詳細な有料ステッカー情報が含まれている場合は、各国で有料ステッカーが必要とされる道路を避けたり、進入を許可したりできます。

注：この機能を利用できない地域もあります。

- 航法 > ルートの環境設定 > 通行料金 > 料金ステッカー**を選択します。
- 国を選択します。
- 次の中からオプションを選択します。
 - 有料ステッカーが必要とされる区域を通過する前に毎回確認するには、常に確認するを選択します。
 - 有料ステッカーが必要とされる道路を常に回避するには、回避を選択します。
 - 有料ステッカーが必要とされる道路を常に許可するには、許可を選択します。
- 保存を選択します。

道路の回避機能

- > **航法 > ルートの環境設定** > 回避を選択します。
- ルート上で回避したい道路の種類を選択し、OKを選択します。

環境ゾーンを回避する

デバイスは、お使いの車両に適用される可能性がある環境または排出制限のある地域を回避できます。このオプションは、アクティブな車両プロファイルにある車両タイプに適用されます (車両プロファイル, 2 ページ)。

- > **航法 > ルートの環境設定 > 環境ゾーン**を選択します。
- 次の中からオプションを選択します。
 - 環境ゾーンを通過する前に毎回確認するには、常に確認するを選択します。
 - 環境ゾーンを常に回避するには、回避を選択します。
 - 環境ゾーンを常に許可するには、許可を選択します。
- 保存を選択します。

カスタム回避

カスタム回避では、道路を含む特定のエリアまたは区域を選択して回避できます。デバイスは、ルートを計算するときは、他に妥当なルートがない場合を除き、これらのエリアと道路を回避します。

道路を回避する

- > **航法 > ルートの環境設定 > カスタム回避**を選択します。
- 必要に応じて、回避の追加を選択します。
- 回避道路の追加を選択します。
- 回避する道路区域の始点を選択し、次へを選択します。
- 道路区域の終点を選択し、次へを選択します。
- OKを選択します。

エリアを回避する

- > **航法 > ルートの環境設定 > カスタム回避**を選択します。
- 必要に応じて、回避の追加を選択します。
- 回避エリアの追加を選択します。
- 回避するエリアの左上隅を選択し、次へを選択します。
- 回避するエリアの右下隅を選択し、次へを選択します。
選択されたエリアが地図上に影付きで表示されます。
- OKを選択します。

カスタム回避を無効にする

カスタム回避を削除せずに無効にします。

- > **航法 > ルートの環境設定 > カスタム回避**を選択します。
 - 回避を選択します。
 - > 無効の順に選択します。
- カスタム回避を削除する**
- > **航法 > ルートの環境設定 > カスタム回避**を選択します。
 - 次の中からオプションを選択します。
 - すべてのカスタム回避を削除するには、を選択します。
 - カスタム回避を1件削除するには、削除したいカスタム回避を選択し、 > 削除の順に選択します。

位置の検索と保存を行う

デバイスにロードされた地図には、レストランやホテル、自動車関連などの場所や詳細なストリート情報が含まれています。目的地検索メニューは、参照、検索、情報の保存のために利用できる複数の方法により、目的地の検索に役立ちます。

- すべての場所情報をすばやく検索するには、検索語を入力します (検索バーを使用して位置を検索する, 7 ページ)。
- カテゴリーごとにロード済みのジャンル別施設を参照または検索します (ジャンル別施設, 7 ページ)。

- 詳細な TruckDown®ディレクトリ情報を含むトラックストップおよびサービスを検索します(利用可能な場合)(**トラックのジャンル別施設を検索する**, 7 ページ)。
- Foursquare®のジャンル別施設を検索し、チェックインします(**Foursquare のジャンル別施設を検索する**, 9 ページ)。
- 検索ツールを使用して、住所、交差点、または地理座標など特定の場所を検索します(**検索ツール**, 8 ページ)。
- 別の都市または地域の周辺を検索します(**検索エリアを変更する**, 8 ページ)。
- お気に入りの場所を保存して後からすばやく検索できます(**位置を保存する**, 9 ページ)。
- 最近検索した場所に戻ります(**最近検索した位置を表示する**, 9 ページ)。

ジャンル別施設

ジャンル別施設は、有用と思われるまたは興味深い場所です。ジャンル別施設は、カテゴリー別に分類されガソリンスタンド、レストラン、ホテル、娯楽施設などよく知られた移動先を含めることができます。

トラックのジャンル別施設を検索する

デバイスにロードされた詳細地図には、トラックストップ、サービスエリア、計量場所など、トラックのジャンル別施設が含まれています。

目的地検索 > カテゴリー > トラックング の順に選択します。

TruckDown ジャンル別施設 (POI) を検索する

TruckDown ディレクトリでは、トラック修理場、タイヤ販売業者など、トラック関連企業が一覧表示されます。

TruckDown ディレクトリを利用できない地域もあります。

1 次の中からオプションを選択します。

- トラックと互換性があるジャンル別施設を検索するには、**Truck Locations** を選択します。
- Truck Services** を選択して、トラック向けのサービスの場所を検索します。

2 カテゴリーを選択します。

3 必要な場合は、**施設とブランドでフィルタリング**を選択し、1つ以上の施設を選択して、**保存**を選択します。

注 : このオプションは、トラックストップにのみ利用できます。

4 目的地を選択します。

検索バーを使用して位置を検索する

検索バーでは、カテゴリー、ブランド名、住所、または都市名を入力して位置を検索します。

1 目的地検索を選択します。

2 検索バーで**検索の入力を選択します。**

3 検索語の全体または一部を入力します。

検索語の候補が検索バーの下に表示されます。

4 次の中からオプションを選択します。

- 業種名を検索するには、「映画館」などのカテゴリー名を入力します。
- 店名を検索するには、名前の一部またはすべてを入力します。
- 現在地の住所を検索するには、番地またはストリート名を入力します。
- 別の都市の住所を検索するには、州名、都市名、ストリート名および番地を入力します。
- 都市を検索するには、州名および都市名を入力します。
- 座標を検索するには、緯度 / 経度を入力します。

5 次の中からオプションを選択します。

- 検索語の候補を使用して検索するには、検索語を選択します。

- 入力したテキストを使用して検索するには、**Q** を選択します。

6 必要に応じて、位置を選択します。

住所を検索する

注 : デバイスにロードした地図データによっては、手順が異なる場合があります。

- 目的地検索を選択します。
- 必要に応じて、**周辺の検索** : を選択し検索範囲を変更します(**検索エリアを変更する**, 8 ページ)。
- アドレスを選択します。
- 画面に表示される指示に従い、住所情報を入力します。
- 番地等を選択します。

カテゴリーを入力して位置を検索する

- 目的地検索を選択します。
- カテゴリーを選択するか、または**カテゴリー**を選択します。
- 必要に応じて、サブカテゴリーを選択します。
- 位置を選択します。

カテゴリー内を検索する

ジャンル別施設の検索後、ある特定のカテゴリーに、最後に選択した目的地からさかのぼって4か所を含むクリックサーチリストが表示される場合があります。

- 目的地検索 > カテゴリーの順に選択します。
- カテゴリーを選択します。
- 次の中からオプションを選択します。
 - 画面右側のクリックサーチリストから、目的地を選択します。
 - クリックサーチリストには、選択したカテゴリーで最近検索した場所のリストが表示されます。
 - 必要に応じてサブカテゴリーを選択し、目的地を選択します。

場所検索の結果

デフォルトでは、場所検索の結果はリストに表示され、最も近い場所が一番上に表示されます。下にスクロールしてより多くの結果を表示できます。



①	場所を選択してオプションメニューを表示します。
② ①	選択して、選択した場所に関する詳細情報を表示します。
③ P	選択して、場所の近くの駐車場を検索します。
④ V	選択して、場所への代替ルートを表示します。
⑤ 出発	選択して、推奨ルートを使用して場所へのナビゲーションを開始します。
⑥ 地図	選択して、検索結果を地図上に表示します。

地図上の場所検索結果

場所検索の結果をリストではなく地図に表示できます。

場所検索の結果から、**▲**を選択します。最も近い場所が地図の中心に表示され、選択した場所の基本情報が地図の下部に表示されます。



①	地図をドラッグして、追加の検索結果を表示します。
②	追加の検索結果。選択して、別の場所を表示します。
③	選択した場所の概要。選択して、選択した場所に関する詳細情報を表示します。
④ 出発	選択して、推奨ルートを使用して場所へのナビゲーションを開始します。
⑤ 🔍	選択して、検索結果をリストに表示します。

検索エリアを変更する

デフォルトでは、デバイスは現在地に近い場所を検索します。目的地の近く、別の都市の近く、アクティブルート沿いなど別のエリアの検索もできます。

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 ⚙を選択します。
- 3 オプションを選択します。

カスタム POI (ジャンル別施設)

カスタム POI は、地図上のカスタマイズされたポイントのことです。カスタム POI には、指定した地点に近づいた場合や走行スピードが指定スピードを超えた場合などに通知するアラートを設定することができます。

POI Loader をインストールする

コンピュータでカスタム POI リストを作成またはダウンロードし、POI Loader ソフトウェアを使用して、デバイスにインストールできます。

- 1 www.garmin.com/poiloader を参照してください。
- 2 画面に表示される指示に従います。

カスタム POI を検索する

カスタム POI を検索できるようにするには、POI Loader ソフトウェアを使用して、デバイスにカスタム POI をロードする必要があります ([POI Loader をインストールする, 8 ページ](#))。

- 1 目的地検索 > カテゴリーの順に選択します。
- 2 [その他のカテゴリー] セクションにスクロールし、目的のカテゴリーを選択します。

駐車場

dezl デバイスは詳細な駐車場データを含んでいます。これは、駐車場の利用可能性、駐車場のタイプ、料金、または認められている支払い方法に基づいて近くの駐車場を検索するのに役立ちます。

一部の地域では、dezl デバイスを Smartphone Link に接続しているときにライブパーキングデータを入手できます。デバイスがライブパーキングデータを受信中に、リアルタイムパーキングトレンドを表示できます。

注： 詳細なパーキングデータは、すべての地域およびすべての駐車場で利用できるわけではありません。Garmin は、ライブパーキングデータの正確性または適時性について責任を負いません。

トラック駐車場を検索する

1 目的地検索 > Truck Locations > 駐車場を選択します。

2 駐車場を選択します。

3 出発を選択します。

現在の場所近くの駐車場を検索する

1 目的地検索 > カテゴリー > 駐車場の順に選択します。

2 駐車場をフィルタリングを選択し、空き状況、タイプ、価格、または支払い方法の 1 つまたは複数のフィルタカテゴリーを選択します (オプション)。

注： 詳細なパーキングデータは、すべての地域およびすべての駐車場で利用できるわけではありません。

3 駐車場を選択します。

4 出発を選択します。

駐車場の色分けと記号について

詳細なパーキングデータがある駐車場では、駐車スポットが見つかる可能性が色で表示されます。記号は駐車場のタイプ (路上またはパーキングロット)、関連する料金情報、および支払タイプを示します。

これらの色と記号の凡例はデバイスで表示できます。

パーキング検索の結果から、①を選択します。

検索ツール

検索ツールでは、画面に表示される指示に従って、特定の位置を検索できます。

交差点を検索する

2 本のストリート、幹線道路、またはその他の道路の間にある交差点またはジャンクションを検索できます。

1 目的地検索 > カテゴリー > 交差点の順に選択します。

2 画面に表示される指示に従い、ストリート情報を入力します。

3 交差点を選択します。

都市を検索する

1 目的地検索 > カテゴリー > 都市の順に選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- 周辺都市のリストから都市を選択します。
- 別の場所の周辺を検索するには、周辺の検索 : (検索エリアを変更する, 8 ページ) を選択します。
- 名前で都市を検索するには、検索の入力を選択し、都市名を入力して、Q を選択します。

座標を使用して位置を検索する

緯度 / 経度を指定して、位置を検索できます。これはジオキャッシュを行う場合に役立ちます。

1 目的地検索 > カテゴリー > 座標の順に選択します。

2 必要に応じて、📍を選択し、座標形式やデータを変更します。

3 緯度 / 経度を入力します。

4 地図に表示を選択します。

Foursquare

Foursquare は、場所に基づくソーシャルネットワークです。お使いのデバイスにはロード済みの Foursquare のジャンル別施設があり、場所検索の結果に Foursquare ロゴで示されます。

追加機能については、互換性のあるスマートフォンで Smartphone Link を使用して、Foursquare アカウントに接続できます。Smartphone Link を使用して Foursquare アカウントに接続しているときは、Foursquare の場所の詳細の表示、場所へのチェックイン、およびオンライン Foursquare データベースでジャンル別施設の検索が可能です。

Foursquare アカウントに接続する

1 デバイスを Smartphone Link に接続します。

2 スマートフォンで、Smartphone Link アプリを開きます。

- 3 Smartphone Link アプリ設定を開き、Foursquare > ログインを選択します。
- 4 Foursquare ログイン情報を入力します。

Foursquare のジャンル別施設を検索する

デバイスにロードした Foursquare のジャンル別施設を検索できます。Smartphone Link を使用して Foursquare アカウントに接続しているとき、検索では、オンライン Foursquare データベースから最新の結果が得られ、Foursquare ユーザーアカウントからはカスタマイズされた結果が得られます。

目的地検索 > カテゴリー > Foursquare の順に選択します。

Foursquare の場所の詳細を表示する

Foursquare の場所の詳細を表示する前に、Smartphone Link が実行されているサポートされている電話に接続して、Foursquare アカウントにログインする必要があります。

ユーザー評価、レストランの価格設定情報、営業時間など、Foursquare の場所に関する詳細情報を表示できます。

- 1 場所についての検索の結果から Foursquare のジャンル別施設を選択します。

- 2 ①を選択します。

Foursquare によるチェックイン

Foursquare でチェックインする前に、Smartphone Link が実行されているサポートされている電話に接続して、Foursquare アカウントにログインする必要があります。

- 1 ② > Foursquare > チェックインを選択します。

- 2 ジャンル別施設を選択します。

- 3 ① > チェックインを選択します。

TripAdvisor

デバイスには TripAdvisor ジャンル別施設および評価が登録されています。TripAdvisor 評価は、自動的に該当するジャンル別施設リストの検索結果に表示されます。近くの TripAdvisor ジャンル別施設を検索して、距離または人気度に基づき並べ替えることもできます。

TripAdvisor ジャンル別施設 (POI) を検索する

- 1 目的地検索 > カテゴリー > TripAdvisor の順に選択します。

- 2 カテゴリーを選択します。

そのカテゴリーに該当する、近くの TripAdvisor ジャンル別施設のリストが表示されます。

- 3 距離または人気度で検索結果を並べ替えるには、結果を並べ替えるを選択します (オプション)。

最近検索した位置を表示する

デバイスには、過去に検索した場所の履歴が最新の 50 件保存されています。

目的地検索 > 最近表示した項目の順に選択します。

最近検索した場所のリストを消去する

目的地検索 > 最近表示した項目 > ③ > 消去 > はいの順に選択します。

現在地情報を表示する

[現在地の確認] ページを使用して、現在地に関する情報を表示できます。この機能は、緊急時に 110 番や 119 番で自分のいる場所を知らせる場合に便利です。

地図で、車両を選択します。

緊急時サービスとガソリンスタンドを検索する

[現在地の確認] ページを使用して、直近の病院、警察署、およびガソリンスタンドを検索できます。

- 1 地図で、車両を選択します。

- 2 病院、警察署、ガソリンスタンド、または路上支援を選択します。

注：サービスカテゴリーの中には、すべてのエリアでは提供されていないものもあります。

注：トラックの車両プロファイルがアクティブなとき、ガソリンスタンドの代わりにトラックトップのオプションが表示されます。

選択したサービスの場所のリストが表示され、最寄りの場所が一番上に表示されます。

- 3 位置を選択します。

- 4 次の中からオプションを選択します。

- その場所までのナビゲーションが開始するには、出発を選択します。
- 電話番号や場所に関するその他の詳細を表示するには、①を選択します。

現在地への道順を表示する

自分が現在いる位置への道順を誰かに知らせる必要がある場合、道順のリストを表示できます。

- 1 地図で、車両を選択します。

- 2 ③ > 現在地までの道順の順に選択します。

- 3 始点を選択します。

- 4 選択を選択します。

ショートカットを追加する

[目的地検索] メニューにショートカットを追加できます。ショートカットから、位置、カテゴリー、または検索ツールを直接参照できます。

[目的地検索] メニューには 36 個までのショートカットアイコンを追加できます。

- 1 目的地検索 > ショートカットの追加の順に選択します。

- 2 アイテムを選択します。

ショートカットを削除する

- 1 目的地検索 > ③ > ショートカットの削除の順に選択します。

- 2 削除するショートカットを選択します。

- 3 確認のため再度ショートカットを選択します。

- 4 OKを選択します。

位置を保存する

位置を保存する

- 1 位置を検索します (カテゴリーを入力して位置を検索する、7 ページ)。

- 2 検索結果から位置を選択します。

- 3 ① > 保存を選択します。

- 4 名前を入力し、OKを選択します。

現在地を保存する

- 1 地図で、車両アイコンを選択します。

- 2 保存を選択します。

- 3 名前を入力し、OKを選択します。

- 4 OKを選択します。

保存した位置を編集する

- 1 目的地検索 > 保存済みの順に選択します。

- 2 必要に応じて、カテゴリーを選択します。

- 3 位置を選択します。

- 4 ①を選択します。

- 5 ③ > 編集を選択します。

- 6 次の中からオプションを選択します。

- 名前を選択します。

- 電話番号を選択します。

- カテゴリーを保存した位置に割り当てるには、カテゴリーを選択します。

- 地図上に保存した位置をマークするために使用する記号を変更するには、地図記号の変更を選択します。

7 情報を編集します。

8 OKを選択します。

保存した位置にカテゴリーを割り当てる

カスタムカテゴリーを使用して保存した位置を整理できます。

注：位置を12件以上保存すると、カテゴリーが[保存した位置]メニューに表示されます。

1 目的地検索 > 保存済みの順に選択します。

2 位置を選択します。

3 ①を選択します。

4 ≡ > 編集 > カテゴリーの順に選択します。

5 1つ以上のカテゴリー名を、カンマ区切りで入力します。

6 必要に応じて、カテゴリーの候補を選択します。

7 OKを選択します。

保存した位置を削除する

注：削除された位置情報を復元することはできません。

1 目的地検索 > 保存済みの順に選択します。

2 ≡ > 保存した場所を削除の順に選択します。

3 削除する保存済み位置情報にチェックをして、削除を選択します。

地図を使用する

地図を使用してルートのナビゲーションを行うこと(地図上のルート, 4ページ)やアクティブなルートがないときに周囲の地図を表示することができます。

1 地図表示を選択します。

2 地図上の任意の場所を選択します。

3 次の中からオプションを選択します。

- 地図をドラッグして、上下左右に回転します。
- 拡大または縮小するには、+または-を選択します。
- ノースアップ表示と3D表示を切り替えるには、▲を選択します。
- 表示されたジャンル別施設をカテゴリー別にフィルタリングするには、Qを選択します。
- ルートを開始するには、地図上で位置を選択し、出発(地図を使用してナビゲーションを開始する, 4ページ)を選択します。

地図ツール

地図ツールを使用すると、地図を表示しながら情報やデバイスの機能にすばやくアクセスできます。地図ツールを有効化すると、地図の端にあるパネルに表示されます。

停止: アクティブルートのナビゲーションを停止します。

ルートの変更:迂回したり、ルートの場所をスキップしたりできます。

この先: ルートや走行中の道路沿いの、この先の場所を表示します(この先, 10ページ)。

方向転換: ルートのこの先の方向転換のリストを表示します(方向転換と方向指示を表示する, 5ページ)。

出張データ: 速度や距離など、カスタマイズできるトリップデータを表示します(地図からトリップデータを表示する, 11ページ)。

音量: マスターオーディオ音量を調節します。

電話: 接続されている電話の最新の通話を表示し、通話中に通話中オプションを表示します(通話中オプションを使用する, 13ページ)。

配送とトラック: 配送とトラック共有を開始したり停止できます(配送とトラック, 15ページ)。

トラフィック: ルート沿いまたはエリアの交通状況を表示します(進行方向の交通事故を表示する, 11ページ)。

天気: エリアの天気状況を表示します。

photoLive: photoLiveサブスクリプションからのライブトラフィックカメラを表示します(photoLive トラフィックカメラ, 14ページ)。

カメラを通知: スピードカメラや赤信号カメラを通知できます。

このツールは、デバイスにスピードカメラデータや赤信号カメラデータがあり、Smartphone Linkアプリへのアクティブな接続がある場合にのみ使用できます。

地図ツールを表示する

1 地図で≡を選択します。

2 地図ツールを選択します。

地図ツールが地図の端にあるパネルに表示されます。

3 地図ツールを使い終わったら、×を選択します。

地図ツールを有効にする

デフォルトでは、最も一般的に使用される地図ツールのみが[地図ツール]メニューで有効にされています。メニューには、最大12個のツールを追加できます。

1 地図で≡ > ☰を選択します。

2 追加する各ツールの横にあるチェックボックスを選択します。

3 保存を選択します。

この先

この先ツールは、ルートや走行中の道路沿いの、この先の場所についての情報を提供します。レストラン、ガソリンスタンド、サービスエリアなど、この先のジャンル別施設を表示できます。高速道路の走行中は、高速道路標識についての情報と同様に、この先の出口や都市についての情報と利用できるサービスも表示できます。

3つのカテゴリーをこの先ツールに表示するようにカスタマイズできます。

この先の場所を表示する

1 地図から≡ > この先を選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- 各カテゴリーの、次のこの先の場所を表示するには、必要に応じて■を選択します。

- この先の高速道路出口や都市についての情報と利用できるサービスを表示するには、□を選択します。

注：このオプションは、高速道路走行中、またはルートに高速道路が含まれる場合にのみ利用可能です。

3 そのカテゴリー、出口、または都市について、場所のリストを表示する項目を選択します。

[この先] カテゴリーをカスタマイズする

この先ツールで表示する場所カテゴリーを変更できます。

1 地図から≡ > この先を選択します。

2 カテゴリーを選択します。

3 ≡を選択します。

4 次の中からオプションを選択します。

- リスト内のカテゴリーを上下に移動するには、カテゴリー名の横にある矢印を選択してドラッグします。

- カテゴリーを変更するには、カテゴリーを選択します。

- カスタムカテゴリーを作成するには、カテゴリーを選択して、カスタム検索を選択し、ビジネスまたはカテゴリーの名前を入力します。

5 保存を選択します。

警告およびアラート記号

⚠ 警告

車両のプロファイル特性を入力しても、すべての推奨ルートでの特性が考慮されるわけではありません。また、警告アイコンが

表示されない場合もあります。このデバイスではこのような制約や道路状況のすべてを把握できないため、地図データには限界があります。運転中は掲示されている道路標識と実際の道路状況を常に優先してください。

警告およびアラート記号が地図上またはルート方向指示に表示され、危険、道路状況、この先の重量検査所をアラートでお知らせします。

制約に関する警告

	車高
	重量
	軸荷重
	長さ
	幅
	トラック走行禁止
	トレーラー走行禁止
	有害物質禁止
	可燃物禁止
	水質汚染物質禁止
	左折禁止
	右折禁止
	Uターン禁止

道路状況に関する警告

	接地の危険あり
	つづら折れ
	道幅減少
	急カーブ
	急な下り坂
	樹木の張り出し

アラート

	重量検査所
	トラックについては検証されていない道路

トリップ情報

地図からトリップデータを表示する

地図上にトリップデータを表示するには、[地図ツール] メニューにこのツールを追加する必要があります (地図ツールを有効にする、10 ページ)。

地図で を選択します。

トリップデータフィールドをカスタマイズする

トリップデータ地図ツールに表示されるデータをカスタマイズできるようにするには、まず、[地図ツール] メニューにトリップデータツールを追加する必要があります (地図ツールを有効にする、10 ページ)。

1 地図で を選択します。

2 トリップデータフィールドを選択します。

3 オプションを選択します。

トリップデータ地図ツールに、新しいトリップデータフィールドが表示されます。

トリップ情報ページを表示する

トリップ情報ページには、速度が表示され、トリップに関する統計情報が表示されます。

注：経由地が多い場合はデバイスの電源をオンにしておいてください。走行中の経過時間を正確に計測できます。

地図で、スピードを選択します。

軌跡ログを表示する

デバイスでは、軌跡ログ (走行した経路の記録) を保持しています。

1 > 地図 / 車両 > 地図レイヤーを選択します。

2 軌跡ログチェックボックスをオンにします。

トリップ情報をリセットする

1 地図で、スピードを選択します。

2 フィールドのリセットの順に選択します。

3 次の中からオプションを選択します。

- 先頭ページのスピードメーター以外のデータフィールドをすべてリセットするには、ルートのナビゲーションをしていないときに、すべて選択を選択します。
- トリップコンピュータの情報をリセットするには、トリップデータのリセットを選択します。
- 最高速度をリセットするには、最高速度のリセットを選択します。
- オドメーターをリセットするには、トリップ B のリセットを選択します。

進行方向の交通事故を表示する

この機能を使用するには、デバイスでトラフィックデータ (トラフィック、14 ページ) を受信している必要があります。

現在のルートや走行中の道路の進行方向にある交通事故を表示できます。

- ナビゲーションの実行中に、 を選択します。地図の右側にあるパネルに、進行方向で発生している交通事故のうち、最も近くにあるものが表示されます。
- この交通事故を選択して、追加情報を表示します。

地図上に交通渋滞情報を表示する

交通渋滞地図は、道路状況が色分けされて表示されます。

- メインメニューで、 を選択します。
- 必要に応じて、 > 凡例を選択し、交通渋滞地図の凡例を表示します。

交通事故情報を検索する

1 メインメニューで、 を選択します。

2 > 事故を選択します。

3 リストからアイテムを選択します。

4 事故が複数地点で発生しているときに別の事故を表示するには、矢印を使用します。

地図をカスタマイズする

地図レイヤーをカスタマイズする

ジャンル別施設を表すアイコンや道路状況など、地図上に表示するデータをカスタマイズできます。

- > 地図 / 車両 > 地図レイヤーの順に選択します。
- 地図上に表示する各レイヤーの横にあるチェックボックスをオンにします。

地図データフィールドを変更する

1 地図からデータフィールドを選択します。

注：スピードはカスタマイズできません。

2 表示するデータの種類を選択します。

地図表示方法を変更する

1 > 地図 / 車両 > 運転地図表示の順に選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- トラフィックを選択すると地図が 2D 表示され、進行方向が常に上になるように表示されます。

- ノースアップを選択すると地図が 2D 表示され、北が常に上になるように表示されます。

- 3D を選択すると地図が 3D 表示されます。

ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能

dēzl デバイスを最大限に活用するには、デバイスをスマートフォンとペアリングし、Smartphone Link アプリに接続します。 Smartphone Link アプリでは、ライブトラフィックデータ、駐車場の傾向、赤信号カメラとスピードカメラなどのライブサービスのライブデータを受信できます。また、配送とトラックトリップ共有やメッセージングなどの接続機能も使用できます。

ライブトラフィックデータ: 交通事故や遅延、工事ゾーン、道路閉鎖などのリアルタイムトラフィックデータをデバイスに送信します ([トラフィック、14 ページ](#))。

ライブパーキング情報: 利用できる場合、リアルタイムの駐車場の傾向をお使いのデバイスに送信します ([駐車場、8 ページ](#))。

Garmin ライブサービス: 赤信号カメラとスピードカメラ、またはトラフィックカメラなどのライブデータをデバイスに送信する、無料および有料サービスを提供します ([Garmin ライブサービス、12 ページ](#))。

天気情報: リアルタイムで気象条件とアラートをお使いのデバイスに送信します ([天気予報を表示する、23 ページ](#))。

配送とトラック: 配送を受け取り、トリップを配達者や選択した連絡先とリアルタイムで共有できます ([配送とトラック、15 ページ](#))。

スマート通知: 電話の通知とメッセージをデバイスに表示します。この機能は一部の言語またはメッセージタイプでは使用できません。

ハンズフリー通話: デバイスを使用して電話をかけたり受けたりできるほか、デバイスをハンズフリースピーカーフォンとして使用できます。

注: この機能を使用するには、Smartphone Link アプリへの接続が必要です。

位置情報をデバイスに送信: スマートフォンから位置情報をナビゲーションデバイスに送信できます。

Foursquare チェックイン: ナビゲーションデバイスを使用して、Foursquare の場所にチェックインできます ([Foursquare によるチェックイン、9 ページ](#))。

電話をペアリングする

ハンズフリー通話を使用するには、互換性のある携帯電話をお使いのデバイスとペアリングする必要があります。

1 電話と dēzl デバイスの距離が 3 m (10 ft) 以内になるようにします。

2 電話側で Bluetooth 無線技術を有効にして、電話を他のデバイスで認識または検出できるように設定します。

詳細については、電話のマニュアルを参照してください。

3 dēzl デバイスで、 > **Bluetooth** を選択します。

4 トグルスイッチを選択して、Bluetooth 技術をオンにします。周辺にある Bluetooth デバイスのリストが表示されます。

5 リストからお使いの電話を選択します。

6 必要に応じて、電話に表示されるコードが dēzl デバイスに表示されるコードと一致するか確認します。

7 ペアリングを選択します。

注: dēzl デバイスで連絡先と通話ログを表示するには、電話の Bluetooth 設定に移動して、ペアリングされた dēzl デバイスの連絡先共有権限を有効にすることが必要になる場合があります。 詳細については、電話のマニュアルを参照してください。

デバイスをペアリングした後のヒント

- 初回のペアリング後、電源をオンにするたびに、2つのデバイスは自動的に接続されます。
- 電話がデバイスに接続されたら、音声通話を受信する準備は完了です。
- 電源をオンにすると、デバイスは最後に接続した電話に接続を試みます。

- また、デバイスをオンにしたとき、デバイスと自動的に接続するように、電話での設定が必要な場合があります。
- 電話をかけるには、お使いの電話機の Bluetooth 設定でナビゲーションデバイスに対して連絡先共有権限を有効にする必要があります。
- 使用する Bluetooth 機能が有効になっていることを確認する必要があります ([Bluetooth 機能を有効または無効にする、13 ページ](#))。

追加 Bluetooth デバイスのペアリング

1 ヘッドセットまたは電話と Bluetooth デバイスの距離は 10 m (33 ft.) 以内になるようにします。

2 デバイス側で Bluetooth 無線技術を有効にします。

3 ヘッドセットまたは電話で、Bluetooth 無線技術を有効にして、他の Bluetooth デバイスに表示されるようにします。

4 デバイスで、 > **Bluetooth** > **デバイスをスキャン** の順に選択します。

周辺にある Bluetooth デバイスのリストが表示されます。

5 リストからヘッドセットまたは電話を選択します。

6 OK を選択します。

Garmin ライブサービス

Garmin ライブサービスを使用する前に、デバイスを Smartphone Link に接続しておく必要があります。

Garmin ライブサービスは、渋滞状況や天気、赤信号カメラとスピードカメラなどのライブデータをデバイスに送信します。一部のサービスには、有料サブスクリプションが必要です。

サービスの中には天気などの、デバイスで独立したアプリとして使用できるものもあります。また、ライブトラフィックなど、デバイスに既に存在しているナビゲーション機能を強化するサービスもあります。 Garmin ライブサービスへのアクセスを必要とする機能には Smartphone Link 記号が表示され、デバイスが Smartphone Link に接続されている場合のみ表示されます。

Garmin ライブサービスに申し込む

一部の dēzl ライブサービスには、有料サブスクリプションが必要です。 Smartphone Link アプリで、アプリ内課金で永久サブスクリプションを購入できます。 サブスクリプションは、スマートフォンのアプリストアアカウントと関連付けられています。

1 スマートフォンで、Smartphone Link アプリを開きます。

2 マイアカウントを選択します。

利用可能なサービスとサブスクリプション価格の一覧が表示されます。

3 サービスを選択します。

4 価格を選択します。

5 **Subscribe** を選択します。

6 画面上の指示に従って、購入を完了します。

スマートフォンからデバイスに位置を送信する

電話の Smartphone Link アプリを使用して位置を検索し、dēzl デバイスに送信できます。

1 スマートフォンで Smartphone Link アプリを開きます。

2 次の中からオプションを選択します。

- 近い場所を検索するには、**最寄りの場所を検索**を選択して、住所またはその場所の名前を完全にまたは部分的に入力します。

- 近くにある Foursquare ジャンル別施設を検索するには、**Foursquare** を選択し、リストからジャンル別施設を選択します。

- 地図上の場所を選択するには、**場所の選択**を選択し、マップの場所をタッチします。

- 連絡先リストから住所を検索するには、**Search Contacts** を選択し、連絡先名を選択します。

選択された位置が地図上に表示されます。

3 送信を選択します。

Smartphone Link アプリにより、dēzl に場所が送信されます。

4 dēzl デバイスで、次の中からオプションを選択します。

- その場所までのナビゲーションが開始するには、出発を選択します。
- この場所の詳細を表示したり、場所をお気に入りに保存するには❶を選択します。
- ナビゲーションを開始せずに場所を受け入れるには、OK を選択します。

この場所は、dēzl デバイスの最近検索した場所に表示されます。

スマート通知

デバイスが Smartphone Link アプリに接続されているときは、dēzl デバイスのスマートフォンから、テキストメッセージ、着信、カレンダーの予定のような通知を表示できます。

スマート通知を受信する

△ 警告

運転中は通知を読んだり返信したりしないでください。

dēzl デバイスで通知を受信するには、デバイスをスマートフォンおよび Smartphone Link アプリに接続する必要があります。

dēzl デバイスがスマートフォンから通知を受信すると、dēzl のステータスバーに通知が表示されます。

- 通知全体を読むには、その通知を選択します。
注：車両が動いている間は、スマート通知を読むことはできません。
- 通知を聞くには、再生を選択します。
デバイスは TTS (Text-to-Speech) 技術を利用して通知を読み上げます。この機能を利用できない言語もあります。
- 通知を却下するには、通知を左または右へスワイプします。

ハンズフリー通話

注：ほとんどの携帯電話とヘッドセットは対応しており使用できますが、特定の携帯電話やヘッドセットの使用は保証できません。お使いの携帯電話では、一部の機能が利用できない場合があります。

Bluetooth 無線技術を使用すると、デバイスを携帯電話とワイヤレスヘッドセットまたはヘルメットに接続し、ハンズフリーデバイスとして使用することができます。お使いの Bluetooth 技術搭載デバイスがデバイスに対応しているかどうかを確認するには、www.garmin.com/bluetooth を参照してください。

電話をかける

1 ☎を選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- 電話をかけるには、❷を選択してから電話番号を入力し、📞を選択します。
- 最近電話をかけた、または最近着信があった電話番号に電話するには、❸を選択し、電話番号を選択します。
- 電話帳にある連絡先に電話をかけるには、❹を選択し、次に連絡先を選択します。

電話を受ける

電話がかかってきたときには、回答または却下を選択します。

通話中オプションを使用する

通話中オプションは、電話に出ると表示されます。一部のオプションはお使いの電話に対応していない可能性があります。

ヒント：いったん通話中オプションページを閉じた後、メインメニューから📞を選択することで、通話中オプションページをもう一度開くことができます。

- 会議通話を設定するには、➕を選択します。
- 音声の出力先を電話に切り替えるには、🔊を選択します。

ヒント：この機能は、Bluetooth の接続を解除して通話を継続する場合やスピーカーでなく電話で話したい場合に使用します。

- ダイヤルパッドを使用するには、❸を選択します。

ヒント：この機能を使用して、留守番電話などの自動システムを使用できます。

- マイクをミュートするには、🔇を選択します。
- 電話を切るには、📞を選択します。

電話番号をプリセットとして保存する

連絡先を 3 つまでプリセットとしてダイヤルパッドに保存できます。これにより、自宅の電話番号、家族、または頻繁に連絡する連絡先にすばやく電話をかけることができます。

1 ☎>❸の順に選択します。

2 プリセット番号（たとえば、プリセット 1）を選択し、OK を選択します。

3 連絡先を選択します。

ワイヤレスヘッドセットについて

デバイスは無線技術を使用して、音声案内をワイヤレスヘッドセットに送信できます。詳細については、<http://www.garmin.com/bluetooth> を参照してください。

Bluetooth 機能を有効または無効にする

ペアリングされたスマートフォンのハンズフリー通話および Smartphone Link 機能を有効または無効にすることができます。

1 ☰>Bluetooth を選択します。

2 電話名の横の⚙️を選択します。

3 使用目的セクションで、オプションを選択します。

- Smartphone Link アプリへの接続を有効にするには、Smartphone Link を選択します。
- ハンズフリー通話機能を有効にするには、ハンズフリーを選択します。

4 OK を選択します。

Android™が搭載されたスマートフォンの通知を表示または非表示にする

Smartphone Link アプリを使用して、dēzl デバイスに表示する通知の種類を選択できます。

1 電話で Smartphone Link アプリを開きます。

2 ⚙️を選択します。

3 スマート通知チェックボックスがオンになっていることを確認します。

4 通知セクションから、設定を選択します。

通知カテゴリーとアプリのリストが表示されます。

5 次の中からオプションを選択します。

- 通知を有効または無効にするには、カテゴリーまたはアプリ名の横にある切り替えスイッチを選択します。
- リストにアプリを追加するには、➕を選択します。

Apple®デバイスの通知カテゴリーを表示または非表示にする

Apple デバイスに接続されている場合は、カテゴリーを表示または非表示にして、dēzl デバイスに表示される通知をフィルタリングできます。

1 ⓘ>スマート通知>📞を選択します。

2 表示する各通知の横にあるチェックボックスをオンにします。

Bluetooth デバイスの取り外し

ペアリングされているデバイスのリストから削除しないで、Bluetooth デバイスを一時的に取り外すことができます。

Bluetooth デバイスは、今後も dēzl デバイスに自動的に接続できます。

- 1 ☰ > Bluetooth の順に選択します。
- 2 接続を解除するデバイスを選択します。

ペアリングした Bluetooth デバイスを削除する

ペアリングした Bluetooth デバイスを削除して、今後自動的に dēzl デバイスに接続できないようにすることができます。ペアリングしたスマートフォンを削除した場合も、すべての同期された電話帳の連絡先および通話履歴が dēzl デバイスから削除されます。

- 1 ☰ > Bluetooth の順に選択します。
- 2 Bluetooth デバイス名の横の☒ > 破棄を選択します。

ペアリングした電話を削除する

ペアリングした電話とのペアリングを解除して、今後自動的にデバイスに接続できないようにすることができます。

- 1 ☰ > Bluetooth を選択します。
- 2 デバイス名の横の☒ > 破棄を選択します。

トラフィック

注記

Garmin は交通情報の正確性または適時性について責任を負いません。

お使いのデバイスは、この先の道路やルート上の渋滞に関する情報を提供できます。アクティブルートで大きな交通遅延状態が発生した場合は、ルートの計算時に渋滞を回避して、目的地への新しいルートを発見するようにデバイスを設定できます(トラフィック設定, 24 ページ)。交通渋滞地図を使用すると、地域の交通遅延の地図を参照できます。

交通情報を提供するには、デバイスがトラフィックデータを受信している必要があります。

- お使いのデバイスは Smartphone Link アプリを介して無料のトラフィックデータを受信します (Smartphone Link を使用してトラフィックデータを受信する, 14 ページ)。
- すべての製品モデルは、無線トラフィックレシーバーケーブルアクセサリを使用して、トラフィックデータを受信できます (Smartphone Link を使用してトラフィックデータを受信する, 14 ページ)。garmin.com で製品のページに移動し、互換性のあるトラフィックレシーバーケーブルアクセサリを検索して購入します。
- 末尾が LMT-D または LMTHD の製品モデルは、内蔵のデジタルトラフィックレシーバーと付属の車両電源ケーブルを使用してトラフィックデータを受信できます (Smartphone Link を使用してトラフィックデータを受信する, 14 ページ)。

トラフィックデータを利用できない地域もあります。トラフィック情報を利用できる地域については、www.garmin.com/traffic を参照してください。

Smartphone Link を使用してトラフィックデータを受信する

お使いのデバイスは、Smartphone Link アプリを介して無料のトラフィックデータを受信できます。

- 1 デバイスを Smartphone Link に接続します。
- 2 dēzl デバイスで、☐ > 航法 > トラフィックの順に選択し、トラフィックチェックボックスがオンになっていることを確認します。

トラフィックを有効にする

トラフィックデータを有効または無効にできます。

- 1 ☰ > 航法 > トラフィックの順に選択します。
- 2 トラフィックチェックボックスをオンにします。

地図上に交通渋滞情報を表示する

交通渋滞地図は、道路状況が色分けされて表示されます。

- 1 メインメニューで、☰ > トラフィックを選択します。
- 2 必要に応じて、≡ > 凡例を選択し、交通渋滞地図の凡例を表示します。

交通事故情報を検索する

- 1 メインメニューで、☰ > トラフィックを選択します。
- 2 ≡ > 事故を選択します。
- 3 リストからアイテムを選択します。
- 4 事故が複数地点で発生しているときに別の事故を表示するには、矢印を使用します。

photoLive トラフィックカメラ

この機能を使用する前に、Smartphone Link に接続する必要があります。また、photoLive サービスにサブスクライブする (Garmin ライブサービスに申し込む, 12 ページ) 必要があります。photoLive トラフィックカメラは、主要な道路および交差点の交通状況をライブ画像で提供します。

photoLive サービスを利用できない地域もあります。

photoLive トラフィックカメラの表示と保存

周辺のトラフィックカメラのライブ画像を表示できます。頻繁に訪れるエリアのトラフィックカメラを保存することもできます。

- 1 ☰ > photoLive の順に選択します。
- 2 觸れて追加を選択します。
- 3 道路を選択します。
- 4 トラフィックカメラの場所を選択します。
カメラからのライブ画像のプレビューが、カメラの設置場所の地図の横に表示されます。画像プレビューを選択すると、フルサイズの画像を表示できます。
- 5 保存選択して、カメラを保存します (オプション)。
photoLive アプリのメイン画面にカメラのサムネイル画像プレビューが追加されます。

地図上に photoLive トラフィックカメラを表示する

photoLive 地図ツールには、進行方向のトラフィックカメラが表示されます。

- 1 地図で、☒ > photoLive を選択します。
通りの進行方向にある最も近いトラフィックカメラからのライブ画像が表示されます。カメラまでの距離も表示されます。カメラを通過すると、次のカメラのライブ画像がロードされます。
- 2 その通りにカメラが見つからない場合、カメラを探すを選択して、周辺のトラフィックカメラを表示または保存します (オプション)。

トラフィックカメラを保存する

- 1 ☰ > photoLive を選択します。
- 2 觸れて追加を選択します。
- 3 道路を選択します。
- 4 交差点を選択します。
- 5 保存を選択します。

車両およびドライバーツール

休憩の計画

注記

このデバイス自体は、FMCSA (Federal Motor Carrier Safety Administration) 規則の登録証記録要件の承認された代替にはなりません。ドライバーは、連邦および州により定められたサービス時間の要件をすべて遵守する必要があります。Garmin

eLog™準拠の電子ロギングデバイス(ELD)と統合すると、このデバイスにより、自動車輸送業者はサービスロギングおよび休憩要件の時間を順守できます。詳細や Garmin eLog デバイスの購入については、garmin.com/elog を参照してください。

休憩の計画機能を有効にすると、デバイスは推奨休憩時間と運転時間制限の 1 時間前に通知し、ルート上の休憩場所を提案します。この機能を使用すると、労働時間を記録できるため、安全規制を遵守するのに役立ちます。

注：車両プロファイルを使用している場合は、休憩の計画機能を使用できません。

推奨の休憩をとる

休憩の時間になると、デバイスは通知し、推奨の休憩場所 POI を表示します。

推奨の休憩場所のリストから POI を選択します。

デバイスは休憩場所をルート上の次の目的地として追加します。

休憩タイマーを開始する

車両が 30 秒間で少なくとも 8 kph(5 mph)を移動すると、休憩タイマーが自動的に開始します。タイマーはいつでも手動で開始できます。

1 地図で > 休憩プランナーを選択します。

2 タイマーの開始を選択します。

休憩タイマーの一時停止とリセット

休憩タイマーは、車両が 3 分以上停止すると自動的に一時停止します。タイマーは、トラックストップでの駐車や停車など、短時間の停止のために手動で一時停止できます。運転の最後には、タイマーを手動でリセットできます。

1 タイマーの停止を選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- タイマーを一時停止するには、一時停止を選択します。
- タイマーを停止してリセットするには、リセットを選択します。

運転時間を調整する

勤務時間の記録に正確に一致するように、総運転時間を調整できます。

1 休憩プランナー機能を使用している間は、総運転時間を選択します。

2 総運転時間を入力します。

3 保存を選択します。

1 日の制限運転時間を調整する

1 日の制限運転時間は、地域の法的要件に対応するように調整できます。

注：この機能を利用できない地域もあります。

1 休憩の計画機能を使用している間は、1 日の運転時間を選択します。

2 地域での 1 日の制限運転時間を選択します。

3 保存を選択します。

配送とトラック

注記

位置情報を他の人と共有する際には注意してください。

配送とトラック機能を使用すると、スマートフォンやソーシャルネットワーキングのアカウントから配送者や連絡先とトリップを共有できます。共有している間、閲覧者は運転者の現在地、次の目的地、および最近の走行経路をリアルタイムで追跡できます。

この機能を使用するには、Smartphone Link アプリを実行するスマートフォンが必要です。

注：この機能は、車両プロファイルを使用している場合は使用できません。

配送とトラック共有の設定

配送とトラック機能を初めて使用する場合は、機能を設定して配送者を招待する必要があります。

- 1 Smartphone Link。
- 2 dēzl デバイスで、 > 配送とトラックを選択します。
- 3 dēzl デバイスで画面の指示に従って、この機能の設定を終了します。

配送とトラックセッションを開始する

注記

位置情報を他の人と共有する際には注意してください。

共有を開始する前に、配送とトラック機能を設定する必要があります([配送とトラック共有の設定](#), 15 ページ)。

dēzl デバイスまたは Smartphone Link アプリを使用して、配送とトラックデータの共有を開始できます。

- dēzl デバイスで、 > 配送とトラック > 開始を選択します。
- dēzl デバイスの地図から、 > 配送とトラック > 開始を選択します。
- スマートフォンで Smartphone Link アプリを開き、配送とトラック > Dispatch and Track を開始を選択します。

配送とトラックデータを表示するリンクが有効なソーシャルネットワークアカウントに送信され、リンクが記載されたメールが招待する連絡先に送信されます。共有している間、閲覧者はリンクをクリックして、運転者の現在地と最近の走行経路をリアルタイムで追跡できます。

配送とトラック共有がアクティブな間は、dēzl ステータスバーに が表示されます。招待された閲覧者の数も表示されます。

ヒント：デフォルトでは、配送とトラック共有セッションは 24 時間後に自動的に終了します。Smartphone Link アプリでは、配送とトラック > アクティビティを利用可能なままにするを選択して配送とトラック共有セッションの時間を延長したり、共有をいつでも停止できます。

配送とトラック共有を停止する

dēzl デバイスまたは Smartphone Link アプリを使用すると、配送とトラック共有をいつでも停止できます。

- dēzl デバイスで、 > 配送とトラック > 停止を選択します。
- スマートフォンで Smartphone Link アプリを開き、配送とトラック > Dispatch and Track を停止を選択します。

閲覧者は、配送とトラックセッションが終了したことを知らせるメッセージを受信し、口頭説明をトラックできなくなります。

[配送とトラック] セッションを自動的に開始する

ルートを開始するたびに配送とトラックセッションを自動的に開始するようにデバイスを設定できます。

1 > 航法 > ルートの環境設定の順に選択します。

2 Dispatch and Track の自動開始を選択します。

dēzl デバイスに配送メッセージを送信する

配送メッセージを送信する前に、運転者は配送とトラック機能を設定する必要があります([配送とトラック共有の設定](#), 15 ページ)。

配送とトラック機能を使用すると、配送メッセージを dēzl デバイスに直接送信できます。これは更新された情報を運転者に送信するのに役立ちます。

注：この機能は一部のスマートフォンメッセージングアプリと互換性がありません。

- 1 更新された配送情報を含む電子メールまたはテキストメッセージを準備します。
- 2 電子メールまたはテキストメッセージの件名または本文のどこかに「dezl」という語を含めます。

注：「dezl」という語では大文字と小文字を区別しません。

- 3 電子メールまたはテキストメッセージを運転者のスマートフォンに送信します。

このメッセージは運転者の dēzl デバイスに表示され、車両が走行中でも表示できます。

配送メッセージを使用してルートを開始する

配送者からメッセージを受信すると、可能な場合は、受信したアドレス情報を使用して新しいルートを開始できます。

- 1 メッセージ通知を選択します。
- 2 メッセージの本文からアドレスリンクを選択します。
デバイスがそのアドレスを検索します。
- 3 位置を選択します。
- 4 出発を選択します。
デバイスが目的地へのルートを計算し、新しい配送とトラックセッションを開始します。

IFTA

注： この機能を利用できない地域もあります。

この機能を使用する前に、トラックの車両プロファイルをアクティブにする必要があります。

燃料購入データや走行距離数など、International Fuel Tax Agreement (IFTA) ドキュメントに必要なデータを記録できます。

燃費データを入力する

- 1 > IFTA > ガソリンスタンド を選択します。
- 2 1ガロンあたりの燃料価格を入力します。
- 3 使用燃料フィールドを選択します。
- 4 購入した燃料の金額を入力します。
- 5 必要に応じて、燃料タイプを選択します。
 - ・ 量をリットル単位で記録するには、ガロン > リットル > 保存を選択します。
 - ・ 量をガロン単位で記録するには、リットル > ガロン > 保存を選択します。
- 6 必要に応じて、税込みチェックボックスをオンにします。
- 7 次へを選択します。
- 8 給油したガソリンスタンドを記録するオプションを選択します。
 - ・ リストから近くのガソリンスタンドを選択します。
 - ・ テキストフィールドを選択し、ガソリンスタンド名と住所を入力します。
- 9 燃料購入者を選択します。

燃費データを編集する

- 1 > IFTA > 燃料履歴の順に選択します。
- 2 必要に応じて、車両プロファイルを選択します。
- 3 必要に応じて、期間（四半期）を選択します。
- 4 燃費記録を選択します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 情報を編集するには、フィールドを選択します。
 - ・ 記録を削除するには、 を選択します。

管轄機関の概要を表示およびエクスポートする

管轄機関の概要には、各四半期中に車両が運行した州または地方ごとにデータが一覧表示されます。管轄機関の概要を利用できない地域もあります。

- 1 > IFTA > 管轄機関の概要を選択します。
- 2 必要に応じて、トラックを選択します。
- 3 必要に応じて、期間（四半期）を選択します。
- 4 管轄機関の概要をエクスポートするには、 > エクスポート > OK を選択します。

概要是.csv ファイルにエクスポートされ、デバイスの Reports フォルダに保存されます。

トリップレポートを編集およびエクスポートする

- 1 メインメニューから > IFTA > トリップレポートを選択します。
- 2 必要に応じて、トラックを選択します。
- 3 必要に応じて、期間（四半期）を選択します。
- 4 ログを選択します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - ・ レポートを削除するには、 削除を選択し、チェックボックスをオンにします。
 - ・ レポートを組み合わせるには、 組み合わせを選択し、チェックボックスをオンにします。
 - ・ > エクスポート > OK を選択します。レポートは.csv ファイルにエクスポートされ、デバイスの Reports フォルダに保存されます。

エクスポートされた管轄機関の概要およびトリップレポートを表示する

注記

目的がわからないファイルは削除しないでください。デバイスマモリには重要なシステムファイルが保存されています。これらのファイルを削除しないでください。

- 1 デバイスをコンピュータに接続します。
- 2 コンピュータのファイルブラウザで、デバイス内蔵ストレージを参照して、Reports フォルダを開きます。
- 3 IFTA フォルダを開きます。
- 4 .csv ファイルを開きます。

サービス履歴をログに記録する

車両がサービスまたは保守を受けるときに、日付およびオドメーターの測定値をログに記録することができます。デバイスにはサービスカテゴリーがいくつか用意されています。また、カスタムカテゴリーを追加することもできます（「サービスカテゴリーを追加する」、16 ページ）。

- 1 > サービス履歴を選択します。
- 2 サービスカテゴリーを選択します。
- 3 レコードの追加を選択します。
- 4 オドメーターの測定値を入力し、次へを選択します。
- 5 コメントを入力します（省略可）。
- 6 OKを選択します。

サービスカテゴリーを追加する

- 1 > サービス履歴を選択します。
- 2 > カテゴリーの追加の順に選択します。
- 3 カテゴリーネームを入力してから、OKを選択します。

サービスカテゴリーを削除する

サービスカテゴリーを削除すると、そのカテゴリーに含まれるサービスの記録もすべて削除されます。

- 1 > サービス履歴を選択します。
- 2 > カテゴリーの削除の順に選択します。
- 3 削除するサービスカテゴリーを選択します。
- 4 削除を選択します。

サービスカテゴリーの名前を変更する

- 1 > サービス履歴を選択します。
- 2 名前を変更するカテゴリーを選択します。
- 3 > カテゴリーの名前変更の順に選択します。
- 4 名前を入力し、OKを選択します。

サービスの記録を削除する

- 1 > サービス履歴を選択します。
- 2 サービスカテゴリーを選択します。

3 ≡ > レコードの削除の順に選択します。

4 削除するサービスの記録を選択します。

5 削除を選択します。

サービスの記録を編集する

コメント、オドメーターの測定値、およびサービスの記録日を編集できます。

1 ≡ > サービス履歴を選択します。

2 カテゴリーを選択します。

3 フィールドを選択します。

4 新しい情報を入力して、OKを選択します。

Garmin eLog

The Garmin eLog adapter enables a motor carrier to comply with FMCSA Electronic Logging Device (ELD) regulations. When the dēzl 780 device is paired with the Garmin eLog adapter, the dēzl 780 device and the Garmin eLog adapter together provide a complete ELD solution without the need for an additional smartphone or mobile device. You can use your dēzl device to record and view hours of service information, change your duty status, create inspection reports, and more.

The Garmin eLog adapter is not available in all areas. For more information, or to purchase a Garmin eLog adapter, go to garmin.com/elog.

Setting Up Your Garmin eLog Adapter

NOTE: If you need to transfer Garmin eLog data from another device to your dēzl device, you must import the data during the setup process. You should create a data backup from your previous device before you start setting up the Garmin eLog adapter on your dēzl device ([Transferring Garmin eLog Data from Another Device, page 17](#)).

You must set up and pair your Garmin eLog adapter with the Garmin eLog app in order to be in compliance with FMCSA ELD regulations. For more information about installing the Garmin eLog adapter in your vehicle, see the Garmin eLog Owner's Manual at garmin.com/manuals/elog.

- 1 On your dēzl device, open the Garmin eLog app.
- 2 Follow the instructions in the app to set up and configure the Garmin eLog system, administrator account, and driver profiles.

NOTICE

The administrator account is critical for some app functions. Choose an administrator password you can remember, and do not lose the password. The administrator password cannot be recovered without clearing all app data, which causes all recorded Garmin eLog data to be deleted.

NOTE: Until you complete the setup process, the Garmin eLog device has limited functionality and is not compliant with FMCSA ELD regulations.

Transferring Garmin eLog Data from Another Device

If you have previously used your Garmin eLog adapter with another device, you can transfer the Garmin eLog app data from the previous device to your dēzl device. You must complete this transfer during the initial setup.

- 1 From the Garmin eLog app on your previous device, create a data backup ([Backing Up Data, page 17](#)).
- 2 While setting up your Garmin eLog adapter with your dēzl device, restore the data backup ([Restoring Data, page 17](#)).

Backing Up Data

You can back up your recorded data to a USB storage device. You should back up regularly to help prevent data loss. This is also useful when you need to transfer data to another device.

- 1 From the Garmin eLog app, select **Settings > Back Up Data**.
- 2 Insert a USB storage device into the USB port on the Garmin eLog adapter.

The light ring on the adapter glows green and plays a tone when it is ready to back up data.

- 3 Select **Back Up Data**.

Restoring Data

You can restore backed up data from a USB storage device. This can be useful when transferring Garmin eLog app data from another device.

NOTE: You can restore backed up data only while your are setting up the Garmin eLog app.

- 1 Open the Garmin eLog app to start the setup process.
- 2 Follow the on-screen instructions to install the Garmin eLog adapter in the vehicle diagnostic port and complete the pairing process.
- 3 Select **Restore from Backup**.
- 4 Insert a USB storage device containing backup files into the USB port on the Garmin eLog adapter.

The light ring on the adapter glows green and plays a tone when it is ready to restore data.

- 5 Select a backup file.
- 6 Select **Restore**.

Daily Operation Guidelines

The following points are guidelines to follow when using the Garmin eLog system. Your motor carrier may have different operation requirements. Follow your motor carrier's recommendations for daily operation.

- Verify the dēzl is securely mounted in the vehicle and its screen is visible from a normal seated position.
- Verify Bluetooth wireless technology and location services are enabled on your device at all times while using the Garmin eLog adapter.
- Verify the Garmin eLog app is running and the Garmin eLog adapter is secured to the vehicle diagnostic port before starting the vehicle.
- Log in to the Garmin eLog app at the start of each day.
- Review and claim all logs recorded for an unidentified driver, if applicable.
- At the end of each work day, log out of the Garmin eLog app after turning off the engine.
- Certify your records, and submit them to your motor carrier at the end of each day ([Certifying Daily Logs, page 19](#)).

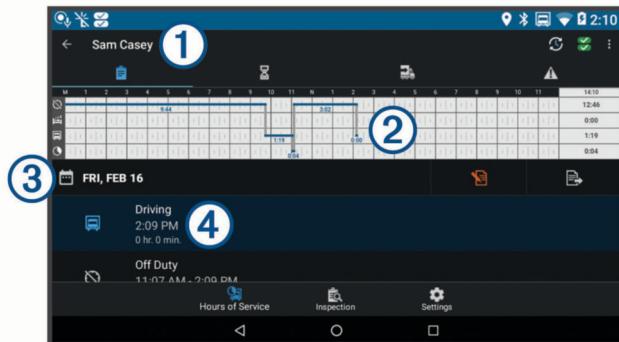
Starting a Drive

Each time you drive your vehicle, you should complete these actions to ensure your hours of service information is recorded correctly.

- 1 Verify the Garmin eLog adapter is secured to the vehicle diagnostic port.
For more information about installing the Garmin eLog adapter in your vehicle, see the Garmin eLog Owner's Manual at garmin.com/manuals/elog.
- 2 Open the Garmin eLog app, and log in as the driver.
- 3 Start your vehicle.
- 4 Before you start driving, change your duty status in the Garmin eLog app.

The Garmin eLog adapter syncs with the Garmin eLog app and records ELD Records of Duty Service (RODS) automatically.

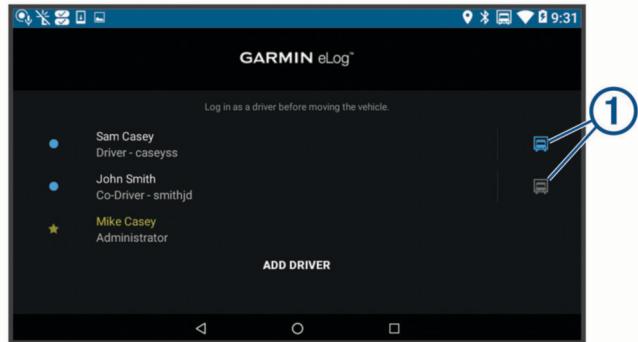
Garmin eLog App Overview



- | | |
|---|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① | Diagnostic and malfunction indicator. Select to view detailed information about diagnostic or malfunction alerts (Viewing Diagnostics and Malfunctions, page 20). |
| ② | Driver name and duty status. Select to change the driver's duty status (Changing Duty Status, page 18).
NOTE: You cannot change your duty status while driving. |
| ③ | Current remaining drive hours. Select to view detailed drive hours information in the Garmin eLog app. |

Driving in a Team

If you are driving in a team, you can switch between active drivers at any time. Each driver must log in to the Garmin eLog app before they can be set as the active driver.



From the Garmin eLog app, select the icon ① next to the user who should be listed as the active driver.

Changing Duty Status

For the most accurate records, you must change your duty status in the Garmin eLog app every time you change your driving status, such as when you start driving, take a break, switch drivers, or change the type of driving you are doing. The Garmin eLog adapter automatically switches to driving status when the vehicle's diagnostic port reports a speed greater than or equal to five miles per hour. The vehicle is stopped when the diagnostic port reports a speed of zero miles per hour.

NOTE: The vehicle must be stopped to change duty status. You cannot manually change duty status while you are driving.

1 Select an option:

- From the Garmin eLog app, select ②.
- From the Garmin eLog map tool, select the driver name.

2 Select an option:

NOTE: The Personal Conveyance and Yard Moves options are available only if the administrator has enabled them for your driver profile ([Editing a Driver Profile, page 21](#)).

- If you are on duty, select **On Duty**.
- If you are off duty, select **Off Duty**.
- If you are on duty and driving, select **Driving**.
- If you are moving to the sleeper berth, select **Sleeper Berth**.
- If you are using the vehicle for personal conveyance, select **Personal Conveyance**.
- If you are moving the vehicle within the yard, select **Yard Moves**.

Editing a Duty Status Record

You can update individual duty status entries to make corrections or updates to your duty status history as allowed by FMCSA regulations. This can be useful if you forget to change your duty status.

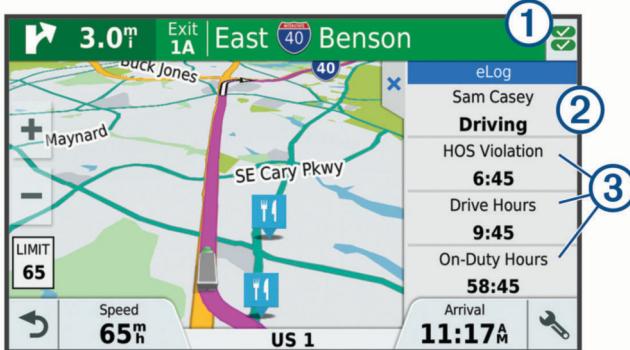
1 From the Garmin eLog app, select the duty status record for the affected time period.

2 Select **Duty Status**.

Garmin eLog Map Tool Overview

The Garmin eLog map tool appears on the navigation map automatically while your device is connected to a Garmin eLog adapter. If you close the map tool, you can open it manually by selecting > **Garmin eLog** from the map.

As you drive, the device displays your duty status and hours of service information in the Garmin eLog map tool.



- 3 Select the correct duty status for the time period.
- 4 If necessary, update the start and end times for the duty status entry.
- 5 If necessary, enter the location where this duty status was active.
- 6 Enter an annotation describing the reason for the change.
- 7 Select **Save**.

Viewing Hours of Service

- 1 From the Garmin eLog app, select **HOS**.
- 2 Select an option:
 - To view a chart of your hours of service information, select .
 - TIP:** You can select the chart to view a larger image of your information.
 - To view a list of remaining drive hours, select .

Recording Adverse Conditions

If you require a time extension because of adverse conditions, you can add a two-hour extension to your hours for the day.

From the Garmin eLog app, select  > **Record Adverse Conditions** > **Yes**.

Reviewing Logs

The Garmin eLog app keeps track of logs that may require review, including logs that have been edited or logs that exist for an unidentified driver. When a driver logs in, the app prompts them to review logs that contain an unidentified driver, if any are available. Drivers are responsible for reviewing and claiming logs, if applicable.

- 1 Select **HOS** > .
- 2 Select a log.
- 3 Select an option:
 - If the log applies to you and your hours of service, select **Accept**.
 - If the log does not apply to you, select **Decline**.

Certifying Daily Logs

After you are finished driving for the day, you should certify your daily log. If you update your duty status after certifying it, you must certify it again.

From the Garmin eLog app, select  > **Agree**.

Submitting a Daily Log

You can submit a daily log to your motor carrier.

- 1 From the Garmin eLog app, select .
- 2 Select an option to share your exported log.

Exporting and Saving a Record of Duty Status (RODS) Report

You can create a RODS report so you or your motor carrier can open your records of duty status outside of the Garmin eLog app.

- 1 From the Garmin eLog app, select  > **Create RODS Report**.
- 2 If necessary, select **Create Additional Graph Grid Report** to include a graph grid in your RODS report.
- 3 Select an option:
 - To save the report to the internal storage of your dēzl device, select **Save Report**.
 - To export the report to email, select **Export Report**.

Recording Trailers and Shipments

You can use the Garmin eLog app to keep records of trailers and shipments.

- 1 Select **Vehicle** > .

- 2 Select an option:

- To add a trailer, select **Add Trailer**.
- To add a shipment, select **Add Shipment**.

- 3 Enter the trailer number or shipping document number.

Roadside Inspection

Viewing Inspection Information

An authorized safety official may ask to view all information recorded by the Garmin eLog system for the current 24-hour period and any of the previous seven consecutive days. You can view this information on the Garmin eLog app at any time.

From the Garmin eLog app, select **Inspection**.

Transferring Data to an Inspector Using a USB Device

You can transfer data to a USB mass storage device to provide it to an authorized safety official. The Garmin eLog adapter supports USB mass storage devices formatted using the FAT32 file system.

- 1 From the Garmin eLog app, select **Inspection**.
 - 2 Select  > **Yes**.
 - 3 If necessary, enter an annotation.
 - 4 Select **USB**.
 - 5 Connect a USB mass storage device to the USB port on your Garmin eLog adapter.
- The adapter glows green when it is ready to send the inspection report.
- 6 Enter your password.
 - 7 Select **Send to USB Device**.
- The Garmin eLog app notifies you when the transfer is complete.
- 8 Remove the USB mass storage device from the adapter.

Transferring Data to an Inspector Using Bluetooth Wireless Technology

The inspector's device must support the Bluetooth Personal Area Networking (PAN) profile and must be able to connect to FMCSA Web Services to complete transfers using Bluetooth wireless technology. Ensure that Bluetooth wireless technology and a Wi-Fi hotspot are enabled on the inspector's mobile device.

The Garmin eLog device uses the inspector's mobile device as a network access point to send inspection information to FMCSA web services.

- 1 From the Garmin eLog app, select **Inspection**.
- 2 Select  > **Yes**.
- 3 If necessary, enter an annotation.
- 4 Select **Bluetooth**.
- 5 Select **Enable Pairing Mode**.
- 6 Follow the on-screen instructions in the app to pair the Garmin eLog adapter with the inspector's mobile device.

The inspection report transfers automatically after the pairing process is complete.

Diagnostics and Malfunctions

The Garmin eLog app records malfunctions and diagnostic events when the app detects critical functions that do not conform to Federal Motor Carrier Safety Administration (FMCSA) specifications. When a malfunction is detected, the driver and motor carrier are subject to responsibilities as directed by FMCSA guidelines.

Driver Responsibilities

- The driver must note the malfunction of the ELD and provide written notice of the malfunction to the motor carrier within 24 hours.
- The driver must reconstruct the Record of Duty Status (RODS) for the current 24-hour period and the previous 7 consecutive days, and record the records of duty status on graph-grid paper logs that comply with 49 CFR 395.8, unless the driver already has the records or retrieves them from the ELD.
- The driver must continue to manually prepare RODS in accordance with 49 CFR 395.8 until the ELD is serviced and returned to a compliant status.

Motor Carrier Responsibilities

- The motor carrier must correct, repair, replace, or service the malfunctioning ELD within eight days of discovering the condition or a driver's notification to the motor carrier, whichever occurs first.
- The motor carrier must require the driver to maintain a paper RODS record until the ELD is back in service.

Viewing Diagnostics and Malfunctions

If the Garmin eLog adapter detects a diagnostic event or malfunction, an alert and an indicator appear in the app. A diagnostic and malfunction indicator also appears in the status bar or near the top of every screen.

	No diagnostic events or malfunctions are detected.
	A diagnostic event was detected.
	A malfunction was detected.
	Diagnostic events and malfunctions were detected.

You can view information about these alerts at any time. This can be useful for correcting errors or adjusting driver information.

Select the diagnostic or malfunction indicator.

The app displays information about the diagnostic or malfunction alert and provides recommendations for how to correct it.

Diagnostic Definitions

Power Data Diagnostic Event: The adapter did not receive power, or was not fully functional, for a period of time.

- 1 Check the vehicle diagnostic port connections.
- 2 Verify the adapter is firmly plugged into the vehicle diagnostic port.
- 3 Review all affected driver logs for missing or incorrect data.

Engine Synchronization Data Diagnostic Event: The adapter failed to synchronize with the vehicle engine computer to record required engine data for driver logs.

- 1 Check the vehicle diagnostic port connections.
- 2 Verify the adapter is firmly plugged into the vehicle diagnostic port.
- 3 Review all affected driver logs for missing or incorrect data.

Missing Required Data Elements Data Diagnostic Event: The Garmin eLog system failed to obtain one or more required data elements when recording driver logs.

- 1 Check the vehicle diagnostic port connections.
- 2 Verify the adapter is firmly plugged into the vehicle diagnostic port.
- 3 Check the Bluetooth settings on the device running the Garmin eLog app, and verify the device and the adapter are connected.
- 4 Check the GPS settings on the device running the Garmin eLog app, and verify the device settings allow location positions to be shared with the Garmin eLog app.

- 5 Review all affected driver logs for missing or incorrect data.

Data Transfer Data Diagnostic Event: A failure occurred with the method for transferring roadside inspection reports.

Perform the following actions:

- 1 Check the Bluetooth settings on the device running the Garmin eLog app, and verify the device and the adapter are connected.
- 2 Verify all USB storage devices used to transfer roadside inspection reports are operating correctly.
- 3 If you have not performed a data backup within the previous seven days, back up your recorded Garmin eLog data to a USB storage device.

Unidentified Driving Records Data Diagnostic Event

Unidentified Driving Records Data Diagnostic Event: At least 30 minutes of unidentified driving was recorded within the current 24 hour period, and over the previous 7 days.

- Drivers: Review and claim the unidentified driving time.
- Administrator: Review and assign the unidentified driving time to the respective drivers.

Malfunction Definitions

Power Compliance Malfunction: The adapter did not receive power, or was not fully functional, for a period of time. At least 30 minutes of driving time may not have been correctly recorded across all drivers over the past 24 hours.

- 1 Check the vehicle diagnostic port connections.
- 2 Verify the adapter is firmly plugged into the vehicle diagnostic port.
- 3 Review all affected driver logs for missing or incorrect data.

Engine Synchronization Compliance Malfunction: The adapter failed to synchronize with the vehicle engine computer to record required engine data for driver logs. At least 30 minutes of inaccurate data may have been recorded across all drivers over the past 24 hours.

- 1 Check the vehicle diagnostic port connections.
- 2 Verify the adapter is firmly plugged into the vehicle diagnostic port.
- 3 Review all affected driver logs for missing or incorrect data.

Timing Compliance Malfunction: The Garmin eLog system failed to accurately verify the calendar date or time of day required for driver logs.

- 1 Verify the adapter is firmly plugged into the vehicle diagnostic port.
- 2 Check the Bluetooth settings on the device running the Garmin eLog app, and verify the device and the adapter are connected.
- 3 Check the date and time settings on the device running the Garmin eLog app.
- 4 Review all affected driver logs for missing or incorrect data.

Positioning Compliance Malfunction: The Garmin eLog system failed to acquire valid location positions required for driver logs. At least 60 minutes of inaccurate data may have been recorded across all drivers over the past 24 hours.

- 1 Verify the Garmin eLog app is running and a driver is logged in when driving the vehicle.
- 2 Check the Bluetooth settings on the device running the Garmin eLog app, and verify the device and the adapter are connected.

- 3 Check the GPS settings on the device running the Garmin eLog app, and verify the device settings allow location positions to be shared with the Garmin eLog app.
- 4 Review all affected driver logs for missing or incorrect data.

Data Recording Compliance Malfunction: The Garmin eLog system has reached the maximum storage capacity for driver logs and cannot store or retrieve more logs.

- 1 Create a RODS report for each driver for record keeping ([Exporting and Saving a Record of Duty Status \(RODS\) Report, page 19](#)).
- 2 Log in as an administrator.
- 3 Back up the system data ([Backing Up Data, page 17](#)).
- 4 Remove unneeded files from the storage of the device running the Garmin eLog app.

Data Transfer Compliance Malfunction: Multiple failures occurred with the method for transferring roadside inspection reports.

Perform the following actions:

- 1 Check the Bluetooth settings on the device running the Garmin eLog app, and verify the device and the adapter are connected.
- 2 Verify all USB storage devices used to transfer roadside inspection reports are operating correctly and are formatted using the FAT32 file system.
- 3 If you have not performed a data backup within the previous seven days, back up your recorded Garmin eLog data to a USB storage device.

Adapter Firmware Malfunction: A serious error occurred attempting to update the adapter firmware. Contact Garmin customer support for further help.

Outdated adapter firmware may not maintain compliance. Garmin recommends keeping paper logs until the adapter firmware is successfully updated.

Administrator Functions

NOTICE

The administrator account is critical for some app functions. Choose an administrator password you can remember, and do not lose the password. The administrator password cannot be recovered without clearing all app data, which causes all recorded Garmin eLog data to be deleted.

You must use the administrator account to perform some Garmin eLog app functions, including adding driver profiles, editing driver profiles, and resetting driver passwords. The administrator account and password are created during the initial Garmin eLog app setup. If the app is administered by a company, drivers may not have access to the administrator functions.

Adding Driver Profiles

You must log in as an administrator to add driver profiles.

- 1 From the Garmin eLog app, select **Add Driver**.
- 2 Enter the administrator password.
- 3 Enter the driver and motor carrier information.
- 4 If the driver has an exempt status, select **Exempt Driver**.
- 5 If the driver is allowed to use the vehicle for personal conveyance, select **Allow Personal Conveyance**.
- 6 If the driver is allowed to make yard moves, select **Allow Yard Moves**.
- 7 Select **Save**.

The first time the driver logs into the new profile, the app prompts the driver to enter their driver license number and create a password.

Editing a Driver Profile

An administrator can edit driver profiles to change driver privileges, reset profile passwords, or deactivate profiles.

NOTE: The administrator can edit basic driver information in the driver profile, but the Garmin eLog app does not support editing duty status records from the administrator account. To correct a duty status record, the driver must log in to the driver profile and edit the record ([Editing a Duty Status Record, page 18](#)).

- 1 Log in to an administrator account.
- 2 Select a driver profile.
- 3 Select **:** > **Edit Profile**.
- 4 Select an option:
 - To edit driver information, select a field to update it.
 - To reset the profile password, select **Reset Password**.
 - To deactivate the profile, select **Deactivate Profile**.

Clearing Garmin eLog App Data

NOTICE

Clearing the Garmin eLog app data will cause all retained ELD data to be deleted from your dēzl device. It is the responsibility of the driver and/or motor carrier to ensure ELD records are retained as required by applicable regulations.

You can clear the Garmin eLog app data to restore the app to the original factory state. This requires you to set up your Garmin eLog adaptor, administrator account, and all driver profiles again. Clearing the app data is also the only way to reset a lost or forgotten administrator password.

- 1 Log in to a driver or administrator account, and back up all data ([Backing Up Data, page 17](#)).
- 2 After the backup is complete, select **⚙️ > アプリ > eLog > ストレージ**.
- 3 Select **データの消去**.

音声コマンド

注：すべての言語や地域で音声コマンドが使用できるわけではありません。また、音声コマンドを利用できないモデルもあります。

注：周囲の音が大きい場合、音声認識ナビが望ましい性能を発揮できない可能性があります。

音声コマンドを使って、単語やコマンドを読み上げてデバイスを使用することができます。[音声コマンド] メニューには、音声プロンプトや利用可能なコマンドのリストが表示されます。

ウェイクアップフレーズを設定する

ウェイクアップフレーズは、音声コマンドをアクティブにするために使用する単語またはフレーズです。デフォルトのウェイクアップフレーズは「音声コマンド」です。

ヒント：強いウェイクアップフレーズを使用して、音声コマンドが誤動作する可能性を減らすことができます。

- 1 **⚙️ > 音声コマンド > ⚙️ > ウェイクアップフレーズ** の順に選択します。
- 2 新しいウェイクアップフレーズを入力します。
フレーズを入力すると、デバイスにウェイクアップフレーズの強度が示されます。
- 3 **OK**を選択します。

音声コマンドを有効化する

ウェイクアップフレーズを発音します。

[音声コマンド] メニューが表示されます。

音声コマンドのヒント

- デバイスで指定される通常の音声で発音します。

- 音声やラジオなどの暗騒音を減らすと、音声認識の精度が向上します。
- 画面にコマンドが表示されたら、そのコマンドを発音します。
- 必要に応じて、デバイスからの音声案内に応答します。
- 音声コマンドの誤作動を減らすには、ウェイクアップフレーズを長くします。
- デバイスが音声コマンドへ移行したこと、および終了したことを確認する2つのトーンを聞きます。

音声コマンドを使用してナビゲーションを開始する

人気のある、有名な場所の名前を発音できます。

- ウェイクアップフレーズを発音します（ウェイクアップフレーズを設定する、21ページ）。
- 場所の検索と発音します。
- 音声案内を聞き、場所の名前を発音します。
- 行番号を発音します。
- ナビゲーションと発音します。

ミュートの手順

デバイスをミュートせずに、音声コマンドの音声案内を無効にすることができます。

- >音声コマンド>を選択します。
- 指示をミュート（消音）にする>有効の順に選択します。

音声制御

音声コマンド機能が使用できない地域では、音声制御機能が有効化されます。音声制御機能を使用すると、音声によってデバイスを制御できるようになります。音声制御機能を使用するには、自分の音声で制御できるよう設定する必要があります。

音声制御の設定

ボイスコマンド機能は、1人のユーザーの音声で設定します。設定後は他のユーザーの音声は認識されません。

- >ボイスコマンドの順に選択します。
- 画面に表示される指示に従い、各音声制御フレーズのコマンドを記録します。

注：画面のフレーズのとおりに読む必要はありません。好みに応じて、同じ意味を持つ別のコマンドを発音することもできます。

音声制御機能を使用するには、その機能に対して記録したコマンドを発音する必要があります。

音声制御の使用

- ボイスコマンドフレーズに対して記録したコマンドを発音します。
- [音声制御]メニューが表示されます。

- 画面に表示される指示に従います。

音声制御のヒント

- デバイスで指定される通常の音声で発音します。
- 音声やラジオなどの暗騒音を減らすと、音声認識の精度が向上します。
- 画面にコマンドが表示されたら、そのコマンドを発音します。
- デバイスがコマンドを正常に認識すると、トーンが1回鳴ります。

アプリケーションを使用する

デバイスのマニュアルの表示

デバイス画面では、多くの言語の完全なマニュアルを表示できます。

- >ヘルプの順に選択します。

マニュアルはソフトウェアの言語と同じ言語で表示されます（テキスト言語を設定する、24ページ）。

- [Q]を選択してマニュアルを検索します（オプション）。

トラック地図を表示する

トラック地図は、Surface Transportation Assistance Act (STAA) 推奨ルート、TruckDown (TD) 推奨ルートなどの認識されたトラックルート、非放射性有害物質 (NRHM) ルートを強調表示します。認識されたルートは、地域とデバイスにロードした地図データにより変化します。

- >トラック地図を選択します。

トリッププランナー

トリッププランナーを使用し、トリップを作成して保存し、あとで操作することができます。配達ルート、休暇、またはドライブの計画に便利です。保存したトリップを編集して、場所の並べ替え、経由地の順序の最適化、アトラクションの提案の追加、およびシェイピングポイントの追加など、さらにカスタマイズできます。

トリッププランナーを使用して、アクティブルートを編集し保存することもできます。

トリップを計画する

1回のトリップに多数の目的地を含めることができます、少なくとも出発地と1つの目的地は含める必要があります。出発地は、トリップの開始を計画している場所です。トリップのナビゲーションを別の場所から開始する場合、デバイスで最初に出発地に向かうオプションを選択できます。往復する場合は、出発地と最終目的地を同じにすることができます。

- >トリッププランナ>新しいトリップの作成の順に選択します。
- 出発地の選択を選択します。
- 始点を指定し、選択を選択します。
- 目的地の選択を選択します。
- 目的地の場所を指定し、選択を選択します。
- 場所の追加を選択して、その他の場所を追加します（オプション）。
- 必要な場所をすべて追加したら、次へ>保存の順に選択します。
- 名前を入力し、OKを選択します。

トリップの場所を編集および並べ替える

- >トリッププランナ>保存されたトリップの順に選択します。
- 保存されているトリップを選択します。
- 位置を選択します。
- 次の順にオプションを選択します。
 - 場所を上下に移動するには、↑を選択し、場所をトリップの新しい位置にドラッグします。
 - 選択した場所の後に新しい場所を追加するには、+を選択します。
 - 場所を削除するには、刪除を選択します。

トリップの目的地の順序を最適化する

デバイスは、トリップの目的地の順序を自動的に最適化して、距離が短く、効率的なルートを作成します。順序を変更しても出発地と最終目的地は変更されません。

トリップを編集するときは、≡>順序の最適化を選択します。

トリップの経路にあるアトラクションの発見

トリップに追加できる興味深いまたは人気のアトラクションが提案されます。

- トリップの編集時に、≡>トリップの設定>アトラクションの提案を選択します。
- アトラクションを選択すると、詳細情報が表示されます。

3 選択を選択してアトラクションをトリップに追加します。

トリップのルート探索オプションを変更する

トリップを開始するとき、デバイスがルートを計算する方法をカスタマイズできます。

1 ⓘ> トリッププランナ > 保存されたトリップの順に選択します。

2 保存されているトリップを選択します。

3 車両プロファイルアイコンを選択し、トリップのナビゲーション中の使用を予定している車両を選択します（オプション）。

4 ≡> トリップの設定を選択します。

5 次の中からオプションを選択します。

- トリップにシェイピングポイントを追加するには、ルートを形成するを選択し、画面に表示される指示に従います（ルートを形成する, 5 ページ）。

- トリップの計算モードを変更するには、ルート探索方法を選択します（ルート探索方法を変更する, 5 ページ）。

保存されているトリップをナビゲーションする

保存したトリップのナビゲーションを開始するには、デバイスのアクティブな車両プロファイルがトリップの選択された車両プロファイルと一致している必要があります（トリップのルート探索オプションを変更する, 23 ページ）。一致しない場合、トリップを開始する前に車両プロファイルを変更するように求めるメッセージがデバイスに表示されます（車両プロファイルの切り替え, 3 ページ）。

1 ⓘ> トリッププランナ > 保存されたトリップの順に選択します。

2 保存されているトリップを選択します。

3 出発を選択します。

4 ナビゲーション先の最初の位置を選択し、開始を選択します。

デバイスは、現在地から選択した位置へのルートを計算し、残りのトリップ目的地に順番に案内します。

アクティブルートを編集および保存する

ルートがアクティブな場合、トリッププランナーを使用し、トリップとしてルートを編集および保存できます。

1 ⓘ> トリッププランナ > マイアクティブルートの順に選択します。

2 いずれかのトリッププランナー機能を使用して、ルートを編集します。

ルートは変更を加えるごとに再計算されます。

3 トリップとしてルートを保存するには、保存を選択します。ナビゲーションは後で再開できます（オプション）。

前のルートと目的地を表示する

この機能を使用する前に、走行履歴機能を有効にする必要があります（デバイス設定, 24 ページ）。

前のルートと停止した場所を地図上に表示することができます。

ⓘ> 目的地の履歴を選択します。

天気予報を表示する

この機能を使用するには、デバイスで天気予報データを受信している必要があります。デバイスを Smartphone Link アプリに接続して、天気予報データを受信できます。デバイスがデジタルトラフィック信号と互換性のある電源ケーブルに接続されている場合は、無線信号から地域の天気情報を受信できます。一部の地域では、HD Radio™ 機能を使用して FM ラジオ局から天気情報を受信できます（トランシーバー, 14 ページ）。

注：天気予報を利用できない地域もあります。

1 ⓘ> 天気を選択します。

デバイスは、現在の天気概況と今後数日間の予報を表示します。

2 曜日を選択します。

選択した曜日の詳細な天気予報が表示されます。

別の都市周辺の天気を表示する

1 ⓘ> 天気 > 現在地の順に選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- お気に入りの都市の天気を表示するには、リストの都市を選択します。

- お気に入りの都市を追加するには、都市の追加を選択し、都市名を入力します。

dēzl 設定

ナビゲーション設定

⌚> 航法を選択します。

車両プロファイル: デバイスを使用する各トラックの車両プロファイルを設定します。

地図 / 車両: 地図の詳細度と、デバイスに表示する車両アイコンを設定します。

ルートの環境設定: ナビゲーション時のルート探索の環境設定を設定します。

安全運転支援: 運転者支援警告を設定します。

トランシーバー: デバイスで使用するトランシーバーの詳細を設定します。アクティブルートで交通遅延状態が発生した場合は、ルートの計算時に渋滞を回避して、目的地への新しいルートを発見するようにデバイスを設定できます（ルート上の交通遅延を回避する, 6 ページ）。

単位: 距離の測定に使用する単位を設定します。

地図および車両設定

⌚> 航法 > 地図 / 車両を選択します。

車両: 地図上で自分の位置を示す車両アイコンを設定します。

運転地図表示: 地図の表示方法を設定します。

詳細度: 地図の詳細度を設定します。詳細度が高いほど、地図の描画に時間がかかることがあります。

地図テーマ: 地図データの色を変更します。

地図ツール: 地図のツールメニューに表示するショートカットを設定します。

地図レイヤー: 地図ページに表示するデータを設定します（地図レイヤーをカスタマイズする, 11 ページ）。

自動ズーム: 地図の使用に最適なズームレベルが自動的に選択されます。無効にすると、ズームインまたはズームアウトを手動で行う必要があります。

マイマップ: デバイスで使用されるインストール済み地図を設定します。

地図を有効にする

デバイスにインストールされている地図製品を有効にすることができます。

ヒント: 追加の地図製品を購入するには、<http://buy.garmin.com> にアクセスしてください。

1 ⌚> 航法 > 地図 / 車両 > マイマップを選択します。

2 地図を選択します。

[ルート探索の環境設定] の設定

⌚> 航法 > ルートの環境設定の順に選択します。

ルートのプレビュー: ナビゲーションを開始すると、ルートの幹線道路のプレビューを表示します。

計算モード: ルート計算方法を設定します。

回避: ルート上で回避する道路の特徴を設定します。

カスタム回避: 特定の道路や地域を回避することができます。

Dispatch and Track の自動開始: ルートを開始するたびに配送とトラックセッションを自動的に開始するようにデバイスを設定します。

環境ゾーン: お使いの車両に適用される可能性がある環境または排出制限のある地域に回避の環境設定を行います。

制限モード: 運転中に注意散漫になって事故を招く恐れのあるすべてのデバイス機能が無効になります。

音声言語: ナビゲーション音声案内の言語を変更します。

走行履歴: デバイスで、myTrends、目的地の履歴、および軌跡ログ機能に関する情報を記録します。

走行履歴の消去: myTrends、目的地の履歴、および軌跡ログ機能から走行履歴を消去します。

運転者支援の設定

⌚ > 航法 > 安全運転支援の順に選択します。

オーディブルドライバーアラート: 各種ドライバーアラートごとに警告音を有効にできます ([ドライバーへの注意喚起の機能とアラート](#), 3 ページ)。

スピードカメラアラート: スピードカメラや赤信号カメラに近づいたときに警告します。

トラフィック設定

メインメニューで、⌚ > 航法 > トラフィックの順に選択します。

トラフィック: トラフィックを有効にします。

現在のプロバイダ: トラフィックデータに使用するトラフィックプロバイダを設定します。自動オプションでは、利用可能な最適なトラフィックデータが自動的に選択されます。

購読: 現在のトラフィックサブスクリプションをリスト表示します。

最適なルート: 最適な代替ルートを自動的、または要求に応じて使用できるようにします ([ルート上の交通遅延を回避する](#), 6 ページ)。

交通アラート: 交通アラートを表示する交通遅延状態の程度を設定します。

Bluetooth 無線技術を有効にする

⌚ > Bluetooth の順に選択します。

ワイヤレスネットワークに接続する

1 ⌚ > Wi-Fi を選択します。

2 必要に応じて切り替えスイッチを選択して、ワイヤレスネットワークを有効にします。

3 ワイヤレスネットワークを選択します。

4 必要に応じて暗号キーを入力します。

デバイスがワイヤレスネットワークに接続されます。デバイスがネットワーク情報を記憶し、この場所に戻ったときに、自動的に接続します。

ディスプレイ設定

⌚ > 表示を選択します。

輝度レベル: デバイスのディスプレイの輝度レベルを設定します。

自動輝度調整: デバイスがマウントから取り外されたときにバックライトの輝度を周辺光に応じて自動的に調整します。

テーマ: 昼または夜のカラー モードを選択できます。自動オプションを選択すると、時刻により昼または夜のカラーが自動的に切り替わります。

壁紙: デバイスの壁紙背景を設定します。

スリープ: バッテリー電源の使用時にデバイスがスリープモードに移行するまでのアイドル時間を設定できます。

Daydream: Daydream スクリーンセーバーを有効または無効にします。

フォントサイズ: デバイスのフォントサイズを増減します。

自動回転: デバイスの向きに基づいて画面を縦向き表示モードと横向き表示モードの間で自動的に切り替えるか、または現在の向きのままにすることができます。

注: デバイスが車両マウントに接続されているときは、横向きモードのみがサポートされます。

キャスト: デバイスの画面の内容を互換性のある外部ディスプレイにワイヤレスで表示できます。

サウンドと通知の設定

⌚ > サウンドと通知を選択します。

音量スライダ: ナビゲーション、メディア、通話、アラーム、および通知警告の音量レベルを設定します。

サイレントモード: 自動サイレントモード機能のルールを設定します。この機能を使用すると、特定の時間帯またはイベント中の警告音を無効にすることができます。

デフォルトの着信音: デバイスのデフォルトの着信音を設定します。

サウンドと通知の音量を調整する

1 ⌚ > サウンドと通知の順に選択します。

2 スライダバーを使用して、サウンドと通知の音量を調整します。

位置情報サービスを有効または無効にする

デバイスで現在地の検索、ルート計算、ナビゲーション支援の提供を行うには、位置情報サービス機能を有効にする必要があります。位置情報サービスは、バッテリー電力を節約する場合や、GPS 信号を利用せずに屋内でルートを計画する場合に無効にすることができます。位置情報サービスが無効なときは、GPS シミュレーターを使用してルートを計算し、シミュレートすることができます。

1 ⌚ > 位置を選択します。

2 トグルスイッチを選択して、位置情報サービスを有効または無効にします。

注: ほとんどの用途では、モード設定をデフォルトオプションのデバイスのみから変更しないでください。このデバイスには、ナビゲート時に最も正確な位置データを提供する高性能 GPS アンテナが組み込まれています。

テキスト言語を設定する

デバイスソフトウェアのテキストの言語を選択できます。

1 ⌚ > 言語 / 入力 > 言語の順に選択します。

2 言語を選択します。

アカウントを追加する

デバイスにアカウントを追加して、メール、予定、およびその他のデータを同期することができます。

1 ⌚ > アカウント > アカウントを追加の順に選択します。

2 アカウントのタイプを選択します。

3 画面に表示される手順に従います。

日付と時刻の設定

⌚ > 日付と時刻を選択します。

日付と時刻の自動設定: 接続されたネットワークからの情報に基づいて時間を自動的に設定します。

日付の設定: デバイスの月、日、および年を設定します。

時刻の設定: デバイスの時刻を設定します。

タイムゾーンの選択: デバイスのタイムゾーンを設定します。

24 時間表示を使用: 24 時間形式を有効または無効にします。

デバイス設定

⌚ > デバイスについてを選択します。

システムの更新: 地図とデバイスソフトウェアを更新できます。

ステータス: 電池の状態とネットワーク情報を表示します。

法規制情報: エンドユーザー使用許諾契約 (EULA) およびソフトウェアライセンス情報を表示できます。

法規: E ラベルの規制および規制準拠に関する情報を表示します。

Garmin デバイス情報: ハードウェアおよびソフトウェアバージョン情報を表示します。

設定を初期化する

設定のカテゴリーを工場出荷時の初期設定値に戻すことができます。

- 1 ☀を選択します。
- 2 設定のカテゴリーを選択します。
- 3 :> 初期化を選択します。

デバイス情報

規制およびコンプライアンス情報の表示

1 設定メニューから、メニューの下部にスワイプします。

2 デバイスについて > 法規の順に選択します。

仕様

動作温度範囲	-10° ~ 55°C (14° ~ 131°F)
充電温度範囲 (車両電源)	0° ~ 45°C (32° ~ 113°F)
電源入力の種類	別売アクセサリーを使用して車両電源から電源供給。別売アクセサリーを使用して AC 電源から電源供給 (家庭またはオフィスでの使用時限定)。
バッテリータイプ	充電式リチウムイオン
入力	最大 DC 5V、2 A
無線周波数およびポートコール	Wi-Fi 2.4 GHz @ +3 dBm 定格 Bluetooth 2.4 GHz

デバイスを充電する

注: このクラス III 製品は LPS 電源により電源が供給されます。以下のいずれかの方法で、デバイスのバッテリーを充電することができます。

- デバイスをマウントに取り付けて、マウントを車両電源に接続します。
- コンセント電源アダプターなどのオプション電源アダプターアクセサリーにデバイスを接続します。

家庭用またはオフィス用に適した、承認済みの GarminAC-DC アダプターを Garmin 販売店または www.garmin.com から購入できます。デバイスがサードパーティ製アダプタに接続されている場合、デバイスの充電に時間がかかる場合があります。

デバイスのメンテナンス

Garmin サポートセンター

製品マニュアル、よく寄せられる質問 (FAQ)、ビデオ、カスタマーサポートなどのヘルプや情報については、support.garmin.com を参照してください。

Wi-Fi ネットワークの使用による地図とソフトウェアの更新

注記

地図やソフトウェアの更新では、デバイスで大きなファイルをダウンロードする必要があります。通常のデータ制限や料金がインターネットサービスプロバイダから適用されます。データ制限や料金の詳細については、インターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

インターネットへのアクセスを提供する Wi-Fi ネットワークにデバイスを接続することで、地図やソフトウェアを更新できます。これにより、デバイスをコンピュータに接続しないで最新の状態に保つことができます。

- 1 デバイスを Wi-Fi ネットワークに接続します (ワイヤレスネットワークに接続する、24 ページ)。

Wi-Fi ネットワークに接続されている間、デバイスは利用可能な更新がないか自動的にチェックし、利用可能な更新が見つかると通知を表示します。

- 2 次の中からオプションを選択します。

- 更新通知が表示されたら、画面の上部から下へスワイプし、更新が利用可能です。を選択します。
- 更新を手動でチェックするには、☀> デバイスについて > システムの更新の順に選択します。

利用可能な地図とソフトウェアの更新が表示されます。更新が利用可能な場合は、利用可能な更新が地図またはソフトウェアの下に表示されます。

- 3 次の中からオプションを選択します。

- 利用可能なすべての更新をインストールするには、ダウンロードを選択します。
- 地図の更新のみをインストールするには、地図を選択します。
- ソフトウェアの更新のみをインストールするには、ソフトウェアを選択します。

- 4 使用許諾契約を読み、同意を選択して使用許諾契約に同意します。

注: 使用許諾契約に同意しない場合、拒否を選択できます。これにより、更新処理は停止します。使用許諾契約に同意するまで更新をインストールすることはできません。

- 5 USB ケーブルを使用して、デバイスを外部電源に接続し、継続を選択します (デバイスを充電する、25 ページ)。

最良の結果を得るには、パワー出力が 1 A 以上の USB 充電器をお勧めします。スマートフォン、タブレット、またはポータブルメディアデバイス用の多くの USB 電源アダプタと互換性があります。

- 6 更新処理が完了するまで、デバイスを外部電源に接続したままにして Wi-Fi ネットワークの範囲内に維持します。

ヒント: 地図の更新が中断したり、完了する前にキャンセルされたりした場合、デバイスの地図データが失われることがあります。失われた地図データを修復するには、地図をもう一度更新する必要があります。

デバイスのお手入れ

注記

装置を落とさないようにしてください。

長時間高温に晒されるような場所に装置を保管しないでください。破損する可能性があります。

タッチスクリーンの操作に硬いものやとがったものは絶対に使用しないでください。スクリーンを傷つける恐れがあります。

デバイスを水に濡らさないでください。

外側ケースのクリーニング

注記

化学洗剤や溶媒は使用しないでください。プラスチック部品が損傷する可能性があります。

- 1 低刺激性の洗浄液で湿らせた布で、デバイスの外側ケース (タッチスクリーン以外) を拭きます。

- 2 デバイスの湿気を拭き取ります。

タッチスクリーンのクリーニング

- 1 柔らかく、清潔で糸くずの出ない布を使用します。

- 2 必要に応じて、布を軽く湿らせます。

- 3 湿らせた布を使用する場合は、デバイスの電源をオフにして、デバイスを電源から切り離します。

- 4 力を入れずに画面を布で拭きます。

盗難防止

- ・ 使用しないときは、デバイスおよびマウントを見るところから取り外してください。
- ・ 吸着カップによって付いたフロントガラス上の汚れを取り除いてください。
- ・ ユニットをダッシュボードのグローブボックスに入れておかないでください。
- ・ Garmin Express ソフトウェアを使用してデバイスを登録します (garmin.com/express)。

車両電源ケーブルのヒューズを交換する

注記

ヒューズを交換する場合は、小さな部品をすべてなくさないようにし、それらを正しい場所に戻してください。車両電源ケーブルを誤って取り付けると、動作しません。

車両からデバイスに充電できない場合は、車両用アダプターの先端にあるヒューズの交換が必要な場合があります。

- 1 先端①を反時計回りに回して、ロック解除します。



ヒント：先端部の取り外しには、硬貨を使用する必要がある場合があります。

- 2 先端部、銀色のチップ②、およびヒューズ③を取り外します。
- 3 1 A または 2 A など、同じ電流の新しい速断ヒューズを挿入します。
- 4 銀色のチップを先端部にはめます。
- 5 先端を押し込み、時計回りに回して、車両電源ケーブル④にロックします。

デバイスをリセットする

デバイスが動作を停止した場合は、リセットできます。

電源キーを 12 秒間押し続けます。

デバイス、マウント、吸着カップを取り外す

吸着カップからマウントを取り外す

- 1 デバイスのマウントを右または左に回転させます。
- 2 マウントのソケットから吸着カップのボールが外れるまで力を掛けます。

フロントガラスから吸着カップを取り外す

- 1 吸着カップのレバーを自分の方に倒します。
- 2 吸着カップのつまみを自分の方に引きます。

トラブルシューティング

吸盤がフロントガラスに取り付けられない

- 1 吸盤とフロントガラスを消毒用アルコールで拭き取ります。
- 2 乾燥した清潔な布で乾かします。
- 3 吸盤を取り付けます (車両への dēzl デバイスの取り付けと電源の供給, 1 ページ)。

運転中にマウントでデバイスが所定の位置に保持されない

最善の結果を得るには、車両マウントをきれいな状態に保ち、デバイスを吸盤の近くに配置します。

運転中にデバイスの位置が動く場合は、以下の操作を実行してください。

- ・ 電源に接続されたマウントを吸盤アームから取り外し、ボールとソケットを布で拭きます。

ほこりなどの異物が入ると、ボールとソケットジョイントとの摩擦が減り、運転中にジョイントが動きます。

- ・ ハンジ付きのアームを、フロントガラスの角度で可能な限り吸盤に向けて回転させます。デバイスをフロントガラスの近くに置くと、道路からの揺れや振動の影響が軽減されます。

デバイスで衛星信号を受信できない

- ・ 位置情報サービスが有効になっていることを確認します (位置情報サービスを有効または無効にする, 24 ページ)。
- ・ 駐車場からデバイスを持ち出して、高層ビルや樹木から離れた場所へ移動してください。
- ・ 数分間静止したままにします。

デバイスを車両で充電できない

- ・ 車両電源ケーブルのヒューズを点検します (車両電源ケーブルのヒューズを交換する, 26 ページ)。
- ・ 車両のイグニッションがオンになっており、電源コンセントに電気が流れていることを確認します。
- ・ 車内温度が仕様で指定されている充電温度範囲内であることを確認します。
- ・ 車両の電源コンセントのヒューズが切れていないことを確認します。

充電しても電池の電力が長持ちしない

- ・ 画面の輝度を下げます (ディスプレイ設定, 24 ページ)。
- ・ ディスプレイのタイムアウトを短くします (ディスプレイ設定, 24 ページ)。
- ・ 音量を下げます (サウンドと通知の音量を調整する, 24 ページ)。
- ・ 使用しないときは、Wi-Fi 無線をオフにします (ワイヤレスネットワークに接続する, 24 ページ)。
- ・ 使用しないときは、デバイスを省電力モードにします (デバイスの電源をオンまたはオフにする, 1 ページ)。
- ・ デバイスを高温になる場所に保管しないでください。
- ・ デバイスは直射日光の当たるところに放置しないでください。

デバイスが電話または Smartphone Link に接続されません

- ・ ☎ > Bluetooth の順に選択します。
[Bluetooth] オプションを有効にする必要があります。
- ・ 電話で Bluetooth 無線技術を有効にし、デバイスから 10m (33 ft.) 以内の範囲に電話を持ってきます。
- ・ スマートフォンで、Smartphone Link アプリを開き、[■ > ▶] を選択して Smartphone Link バックグラウンドサービスを再起動します。
- ・ お使いの電話が対応していることを確認します。
詳細については、www.garmin.com/bluetooth を参照してください。
- ・ ペアリングプロセスを再度完了します。
ペアリングプロセスを繰り返すには、電話とデバイスのペアリングを解除して (ペアリングした電話を削除する, 14 ページ)、ペアリングプロセスを完了する必要があります。

付録

バックアップカメラ

接続された 1 台以上のバックアップカメラからのビデオフィードをデバイスに表示できます。

有線のバックアップカメラを接続する

有線のバックアップカメラを接続するには、別売りのビデオマウントアクセサリを購入する必要があります。これには、3.5 mm のコンポジットビデオ入力ジャックが含まれています。アクセサリマウントを購入するには、garmin.com にアクセスしてください。

有線のバックアップカメラを接続し、デバイスの画面に出力を表示することができます。

1 元のデバイスマウントをビデオマウントアクセサリと交換します。

2 カメラのビデオケーブルをマウントのビデオ入力ジャック①に接続します。



BC™ 35 バックアップカメラと Garmin ナビゲーションデバイスをペアリングする

カメラに接続する前に、Garmin ナビゲーションデバイスで Wi-Fi 設定を有効にする必要があります。

BC 35 ワイヤレスバックアップカメラは、Android を搭載した一部の Garmin ナビゲーションデバイスと互換性があります。デバイスの互換性について詳しくは、garmin.com/bc35 を参照してください。

最大 4 台の BC 35 ワイヤレスバックアップカメラを、互換性のある Garmin ナビゲーションデバイスとペアリングできます。

1 ナビゲーションデバイスを最新のソフトウェアに更新します。

デバイスは最新のソフトウェアがインストールされていない BC 35 カメラをサポートしない場合があります。更新について詳しくは、ナビゲーションデバイスのマニュアルを参照してください。

2 Garmin ナビゲーションデバイスの電源をオンにし、カメラから 3 m (10 ft.) 以内の範囲に移動します。

3 ●> リアビューを選択します。

4 次の中からオプションを選択します。

- ナビゲーションデバイスに接続する最初のカメラの場合は、新しいカメラの追加を選択します。
- ナビゲーションデバイスに接続する追加のカメラの場合は、: > カメラを選択 > 新しいカメラの追加を選択します。

5 画面に表示される手順に従います。

注：ペアリングコードまたはパスワードは、送信機またはカメラに記載されています。

最初のカメラとのペアリングプロセスが完了すると、Garmin ナビゲーションデバイスに自動的に接続されます。

バックアップカメラを表示する

カメラを電源にどのように接続するかによって、接続されているバックアップカメラからのビデオが、デバイスにどう表示されるかが異なります。

1 オプションを選択して、ビデオを表示します。

- カメラがリバースランプに接続されている場合（推奨）、車両のギアをバックに入れます。

バックアップカメラからのビデオがデバイスに自動的に表示されます。

- カメラが、安定した電源に接続されている場合、手動でカメラを表示するには、●> リアビューを選択します。

2 オプションを選択して、デバイスを通常の動作に戻します。

- カメラがリバースランプに接続されている場合（推奨）、車両のギアをバックに入れます。
- デバイスは自動的に通常の動作に戻ります。
- トランスマッタが、安定した電源に接続されている場合、手動でカメラを非表示にするには、◇を選択します。

カメラを切り替える

複数のバックアップカメラが、デバイスに情報を送信している場合、それらのカメラの画像を切り替えることができます。

1 ●> リアビューを選択します。

2 : > カメラを選択を選択します。

3 カメラを選択します。

カメラのビデオフィードが表示され、画面の上部にカメラの名前が表示されます。

ワイヤレスディスプレイに接続する

デバイスの画面の内容を、互換性のある外部ディスプレイに表示できます。

1 デバイスをワイヤレスディスプレイの近くに移動します。

2 ⌂> 表示 > キャストの順に選択します。

3 ワイヤレスディスプレイを選択します。

4 必要に応じて PIN を入力します。

データ管理

ファイルをデバイスに保存できます。デバイスには、データストレージを追加できるメモリカードスロットがあります。

注：このデバイスは、Windows® 95、98、Me、Windows NT®、および Mac® OS 10.3 以下には対応していません。

メモリーカードについて

家電販売店からメモリーカードを購入したり、あらかじめロードされている Garmin 地図ソフトウェア (www.garmin.com) を購入できます。地図やデータの記録に加え、メモリーカードを使用して、地図、イメージ、ジオキャッシュ、ルート、ウェイポイント、およびカスタム POI などのファイルを保存できます。

地図およびデータ用のメモリカードを挿入する

メモリカードを挿入して、デバイスの地図やその他のデータの記憶容量を増やすことができます。メモリカードを家電量販店から購入するか、www.garmin.com/maps にアクセスして Garmin 地図ソフトウェアがあらかじめロードされているメモリカードを購入できます。このデバイスは、4~64 GB の microSD® メモリカードに対応しています。

1 デバイスの地図およびデータメモリカードスロットの場所を確認します（デバイスの概要、1 ページ）。

2 メモリカードをスロットに挿入します。

3 カチッと音がするまで押し込んでください。

デバイスをコンピュータに接続する

USB ケーブルを使用して、デバイスをコンピュータに接続できます。

1 USB ケーブルの小さい方の端をデバイスのポートに接続します。

2 USB ケーブルの大きい方の端をコンピュータのポートに接続します。

3 dēzl デバイスでファイル転送モードに切り替えるかどうかを尋ねるメッセージが表示されたら、はいを選択します。

コンピュータのオペレーティングシステムにより、デバイスはポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、またはリムーバブルボリュームとして表示されます。

コンピュータからデータを転送する

1 デバイスをコンピュータに接続します（デバイスをコンピュータに接続する、27 ページ）。

コンピュータのオペレーティングシステムにより、デバイスはポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、またはリムーバブルボリュームとして表示されます。

- 2 コンピュータで、ファイルブラウザを開きます。
- 3 ファイルを選択します。
- 4 [編集] > [コピー] の順に選択します。
- 5 デバイス上のフォルダを参照します。
注：リムーバブルドライブまたはボリュームの場合、Garmin フォルダにファイルを入れないでください。
- 6 [編集] > [貼り付け] の順に選択します。

追加の地図を購入する

1 garmin.com のデバイス製品ページにアクセスします。

2 [マップ] タブをクリックします。

3 画面に表示される指示に従います。

アクセサリーを購入する

garmin.com/accessories にアクセスします。

索引

記号

トラフィックカメラ, 表示 14
2D 地図表示 11
3D 地図表示 11

A

adverse conditions 19
アイコン, ステータスバー 2
赤信号カメラ 3
アカウント 24
アクセサリー 28
アクティブ車線案内 4
アプリ 2
アラーム音量 24
アラート 3
 近接ポイント 24
 オーディオ 24

B

バックアップカメラ 27. 参照項目 カメラ
場所を検索する 7
バッテリー
 充電 25, 26
 問題 26
 最大化 26

C

地図 4, 10, 11, 23
データフィールド 4, 11
記号 4
購入 28
更新 25
ルートを表示する 4, 5
詳細度 23
テーマ 23
トラック 22
ツール 10
 レイヤー 11
地図表示
 2D 11
 3D 11

D

data
 backing up 17
 restoring 17
デバイスのクリーニング 25
デバイスのお手入れ 25
デバイスの取り付け 26
 自動車 1
 吸盤 1
 吸着カップ 26
デバイスを充電する 1, 25, 26
電源ケーブル 25
 ヒューズ交換 26
 車両 1
電源キー 1
電池, 充電 1
電話
 ペアリング 12, 26
 取り外し 14
電話に応答する 13
電話をかける 13
 電話に応答する 13
diagnostics 19, 20
ディスプレイ設定 24
ドライバーアラート 3
drivers 18
 adding 21
 editing 21
driving logs 18
duty status 18

E

衛星信号, 捕捉 2, 24
エクスポート
 管轄機関の概要 16
 トリップレポート 16

EULA 24

F

ファイル, 転送する 27
files, transferring 19
Foursquare 8, 9

G

画面, 輝度 2
Garmin Connect 12
言語 24
[現在地の確認] 9
Bluetooth 技術 12, 13, 26
 デバイスの取り外し 13
 ペアリングしたデバイスの削除 14
 有効にする 24
GPS 2
 シミュレーター 24

H

配送とトラック 15, 16
ハンズフリー通話 13
ヘッドセット, ペアリング 12
編集, 保存されたトリップ 23
メイン画面 2
 カスタマイズ 2
方向 5
方向転換地点 4
hours of service 17-19
 driving logs 19
 duty status 19
 inspection 19
保存した位置 23
 編集 9
 カテゴリー 10
 削除 10
保存する, 現在地 9
ヒューズ, 交換 26

I

位置 7, 23
 保存する 9
 最近検索した 9
 シミュレート 24
 検索対象 6, 8
 現在 9
位置情報サービス 24
位置を検索する. 6, 9, 12 関連項目 位置
 住所 7
 交差点 8
 都市 8
 カテゴリー 7
 座標 8
ID 番号 24
initial setup 17
International Fuel Tax Agreement (IFTA) 16
エクスポートされた概要およびレポート 16
管轄機関の概要 16
燃費データ 16
 トリップレポート 16

J

ジャンル別施設 (POI) 7-9
POI Loader 8
 キャッシング 7
 カスタム 8
 その他 8
時間設定 24
自宅
 位置を編集する 4
 移動 4
住所, 検索する 7

K

回避 6
 道路機能 6
 道路 6
 エリア 6
 無効化 6
 料金 6

削除 6

カメラ 27
 赤信号 3
 バックアップ 27
 切り替え 27
 ペアリング 27
 スピード 3

管轄機関の概要 16
警告アイコン 10, 11
検索バー 7
検索エリアを変更する 8
輝度 2
緊急時サービス 9
軌跡ログ, 表示 11
帰宅する 4
この先 10
 カスタマイズ 10
コンピュータ, 接続 27
故障関係のディレクトリ 7
交差点, 検索する 8
更新
 地図 25
 ソフトウェア 25
クイックサーチ 7
共有, 配送とトラック 15
吸着カップ 26
休憩の計画 14, 15

M

malfunctions 19, 20
マニュアル 22
マウント, 削除 26
マウントを取り外す 26
メディア音量 24
メモリーカード 1, 27
メモリカード, 挿入する 27
microSD カード 1, 27
目的地 23. 参照項目 位置
 到着 5
myTrends, ルート 6
ミュート操作, オーディオ 22

N

ナビゲーション 4, 5
 設定 23
燃費データ 16
燃料, ガソリンスタンド 9

O

音量 24
音声制御 22
 ヒント 22
オーディオ, 近接ポイント 24
operation guidelines 17

P

ペアリング 12
 電話 12, 26
 ヘッドセット 12
 ペアリングしたデバイスの削除 14
 取り外し 13
photoLive 14
POI Loader 8
プロファイル
 トラック 2, 3
 有効化 2, 3

R

Garmin ライブサービス 12
 サービスに申し込む 12
レポート, トリップ 16
リセットする
 デバイス 26
 トリップデータ 11
ルート 4
 地図上に表示する 4, 5
 開始 4, 7, 16
 計算 5
 計算モード 23
 形成する 5
 候補 6

myTrends 6
ポイントを追加する 5, 23
停止する 6
ルート情報 5
ルートを形成する 5
料金, 回避する 6

S
サービス履歴
編集 17
カテゴリー 16
記録 16, 17
削除 16
サブスクリプション, Garmin ライブサービス 12
最近検索した場所 9
削除
ペアリングした Bluetooth デバイス 14
ペアリング Bluetooth デバイス 14
サービスカテゴリー 16
サービスの記録 16
トリップ 22
サウンド 24
制限事項, 車両 2
製品のサポート 22
設定 23, 24
設定を初期化する 25
車両プロファイル
乗用車 2
トラック 2, 3
車両電源ケーブル 1
ショートカット
削除 9
追加 2, 9
シミュレートされた場所 24
仕様 25
Smartphone Link 12-14
ソフトウェア
バージョン 24
更新 25
走行履歴 24
starting a drive 17, 18
status, duty 18
スピードカメラ 3
スリープモード 1

T
タッチスクリーン 2
タイマー 15
タッチスクリーンのクリーニング 25
天気 23
トラブルシューティング 26
トラフィック 11, 14, 24
代替ルート 6
カメラ 14
事故 11, 14
地図 11, 14
遅延の検索 11, 14
トラック
地図 22
ジャンル別施設 7
プロファイル 2, 3
トレーラー 3
取り外し, Bluetooth デバイス 13
トリップ情報 11
表示 11
リセットする 11
トリッププランナー 22, 23
シェイビングポイント 23
トリップを編集する 22
盗難, 回避する 25
TripAdvisor 9
truck
drivers 21
profiles 21
shipments 19
trailer 19
ツール, 地図 10
通話 13
ダイヤルする 13

電話に応答する 13
ミュート操作 13
音声ダイヤル 13
通知音量 24
通知 2, 13

U
迂回路 5
運転方向 5
USB
hours of service, driving logs 19
transferring files 19

W
Wi-Fi, 接続 24, 27
ワイヤレスカメラ. 参照項目 カメラ
Wi-Fi 25

Y
ユニット ID 24

か
カスタム POI 8

し
ジオキャッシング 8

そ
その他, カスタム POI (ジャンル別施設) 8

わ
ワイヤレスハンドセット 13

support.garmin.com

